

RescueNet Code Review

スタートガイド

Code Review バージョン 5.70

ドキュメント更新日: 2015年1月5日

© 2000–2015, ZOLL Data Systems. 無断複写・転載を禁じます。ZOLL Data Systems 社は、ZOLL Medical 社の子会社です。

ZOLL Medical 社、AED Pro、M Series、E Series、X Series 及び Propaq は、ZOLL Medical 社の登録商標です。ZOLL Data Systems、RescueNet、AED Plus は ZOLL Medical 社の商標です。

Bluetooth[®]は、Bluetooth SIG, Inc.の商標です。

他の製品名及び会社名は、それぞれの所有者の商標です。

1 章 概要	1
RescueNet	1
情報の流れの例	2
2 章 はじめに	4
RescueNet Code Review を起動する	4
症例を開く	5
AED Plus/AED Pro から症例をアップロードする	7
M Series/E Series 又は 1600/1700 から症例をアップロードする	9
Propaq M/MD 又は X Series から症例をアップロードする	12
AutoPulse から症例をアップロードする	14
以前にアップロードした症例を検索する	15
3 章 症例の表示	17
症例ツリーのナビゲート	17
表示するイベントの種類を選択する	20
音声メッセージのオンとオフを切り替える (AED Plus/AED Pro)	22
表示するデータのタブを選択する	25
ECG 全体	28
拡大 ECG と動画	29
CPR 解析	37
CPR 品質の計算	44
12 誘導	53
症例を終了する	56
スナップショット	57
4 章 症例を文書化する	58
情報の確認と追加	58
注釈を追加する	59
コード記録	61
病院外ウツタイン	63
5 章 レポート	65
症例レポート	65
集計レポート	71
ECG セグメントを印刷する	72
6 章 高度な操作	75
症例に「表示済み/未表示」のマークを付ける	75

症例名を変更する.....	77
フォルダ又は E メール宛先に症例のコピーを送信する.....	78
データのエキスポート.....	79
除細動器記録を症例に挿入する.....	80
AutoPulse 記録を症例に挿入する.....	81
HIPAA 開示情報の文書化.....	82
症例のリンクを設定する.....	84
症例の時刻と同期.....	86
7 章 管理.....	90
アクセスの管理／ネットワーク化された環境での使用.....	90
テスト症例を無視する.....	91
AED Pro 及び AutoPulse にアップロード済みの症例を無視する.....	92
症例の転送設定の構成.....	93
ソフトウェアの更新状況を確認する.....	94
アップグレード.....	94
8 章 サポート.....	95
技術／販売サポート.....	95

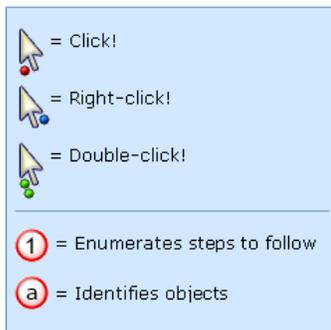
1章 概要

RescueNet

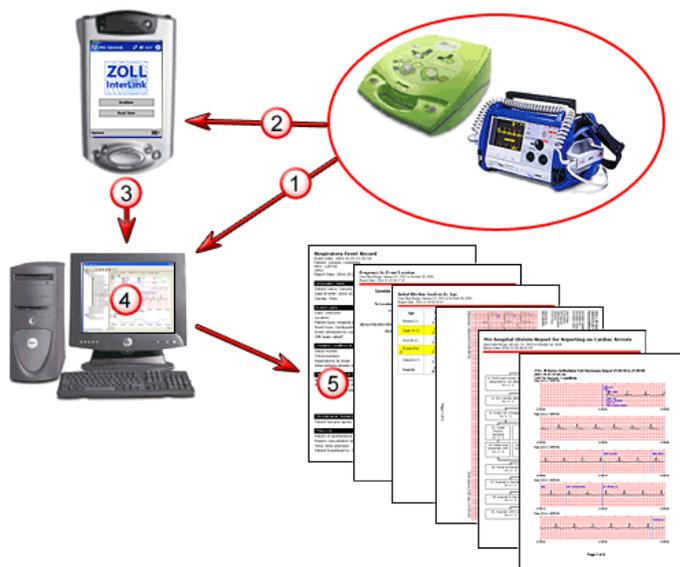
RescueNet™ Code Review は、RescueNet、性能指向型一体型ソフトウェア及び EMS 組織用医療機器を構成するソフトウェアです。RescueNet パッケージには、EMS 業界専用に設計された次の複数の製品があります。

- **RescueNet Code Review**: Standard Edition 及び Enterprise Editions. 統一された蘇生データ収集、解析、レポート及び管理。Standard Edition は、<http://www.ak-zoll.com/general/05.html> から無料でダウンロードすることができます。
- **ZOLL 除細動器**: 先端技術によるこの除細動器は、耐久性、品質、価値を特徴とし、大量の蘇生イベントデータを収集します。ユーザーは RescueNet Code Review でこのデータを解析することができます。
- **RescueNet Dispatch**: 高度コンピュータ支援型派遣システム
- **RescueNet Billing**: 自動請求及び回収
- **RescueNet TabletPCR**: タブレット PC デバイス用現場電子データ収集システム
- **RescueNet ePCR Suite**: 一体型現場データパッケージ
- **RescueNet PocketPCR** モバイル機器用現場データ収集システム
- **RescueNet WebPCR**: ブラウザ型現場電子データ収集システム
- **RescueNet CommCAD**: 緊急通報センター (PSAPS) 用インシデントベース CAD システム
- **RescueNet Nomad** モバイルデータシステム
- **RescueNet Dispatch Web Scheduler** ウェブベースの出向指示
- **RescueNet Navigator**: 搭載移動無線データ通信
- **NetTransit.com**: オンラインの搬送リクエスト／照会
- **RescueNet Web Viewer**: ウェブベースの車両追跡
- **RescueNet Crew Scheduler**: 最適な乗務員のスケジューリング
- **RescueNet Resource Planner**: 需要ベースの人員／リソースの管理
- **RescueNet Code Review**: 蘇生データの収集／管理
- **RescueNet FireRMS**: NFIRS 5.0 適合型インシデントレポート／消防局記録管理システム
- **RescueNet Insight**: ウェブベースの操作、財務管理、請求、臨床基準評価／解析ツール

本書をお読みいただく前に



情報の流れの例



- Bluetooth、赤外線、USB 又はシリアルケーブルの接続経路で除細動器から RescueNet Code Review へと症例データを転送することができます。除細動器のフラッシュカードからもカードリーダーを経由して転送することができます。利用可能な転送方法は、ご使用になる除細動器のモデルに応じて変わります。

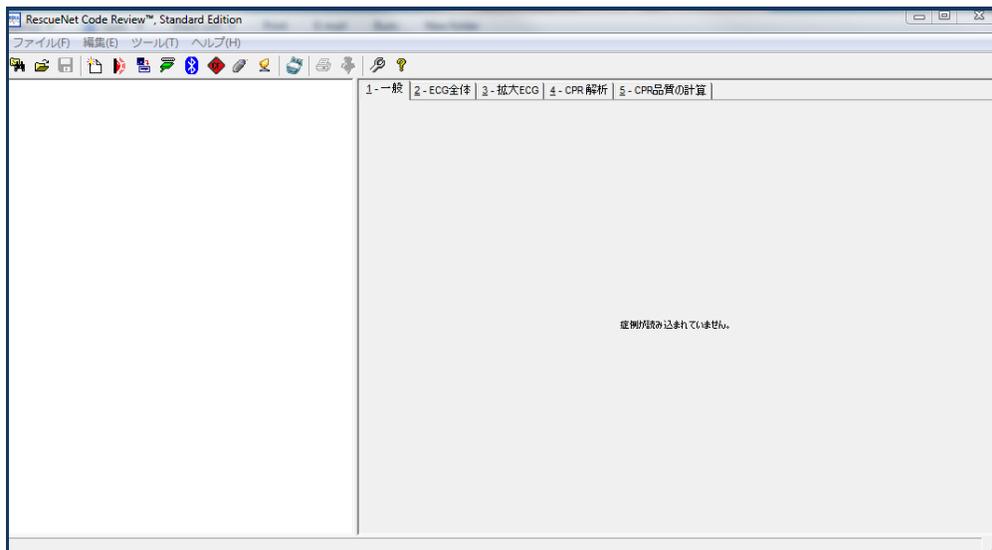
2. RescueNet Code Review では、症例を確認し、必要に応じて情報を追加することができます。
3. 様々な症例レポートと集計レポートが得られ、機能をエクスポートすることができるため、所有するデータを簡単に解析できるようになります。

2章 はじめに

RescueNet Code Review を起動する



RescueNet Code Review は、症例が読み込まれていない状態で開きます。



症例を開く



赤外線接続経由で AED Plus 又は AED Pro から転送して、保存されている記録をアップロードします。



カードリーダー経由で除細動器のリニアフラッシュカードから転送して、保存されている記録をアップロードします。



シリアルケーブル接続経由で除細動器から転送して、保存されている記録をアップロードします。



Bluetooth 接続経由で除細動器から転送して、保存されている記録をアップロードします。



除細動器のコンパクトフラッシュカードからカードリーダー経由で転送して、保存されている症例を開きます。



USB ドライブから転送して、保存されている症例を開きます。



ネットワークの位置から転送して、保存されている症例をアップロードします。



ZOLL AutoPulse Noninvasive Cardiac Support Pump から、赤外線接続経由で保存されている記録をアップロードします。

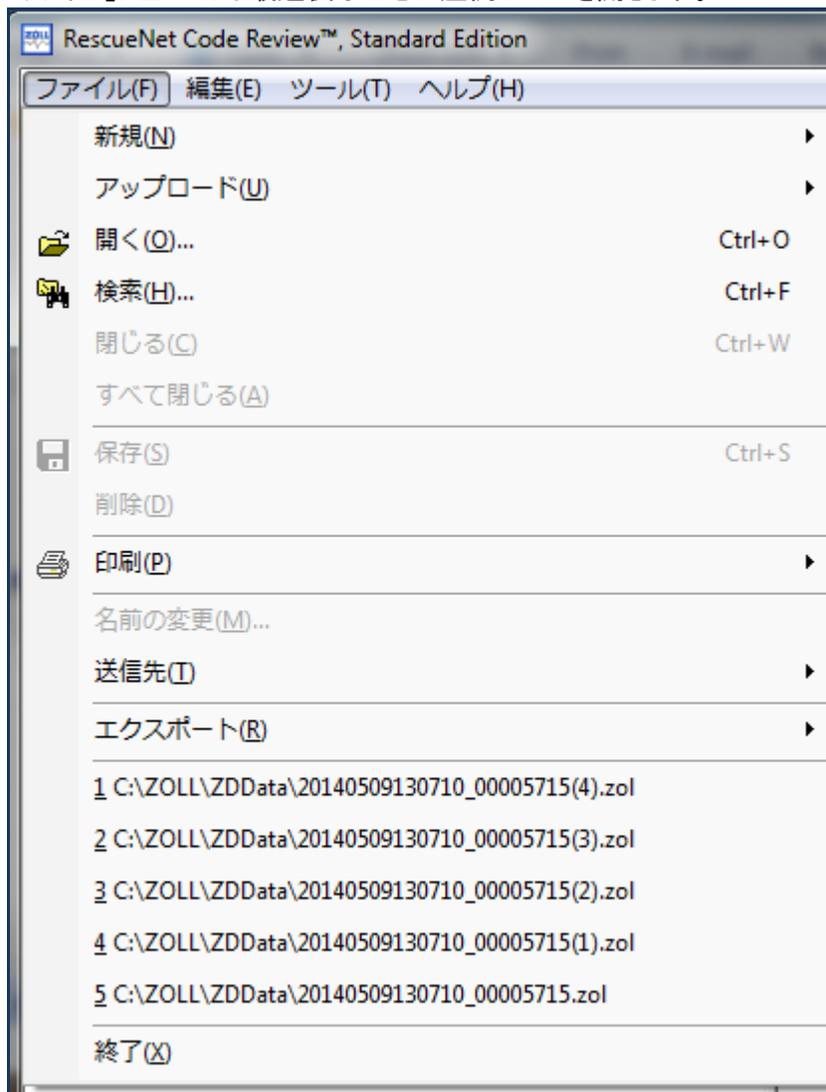


既存の症例を検索して開きます。



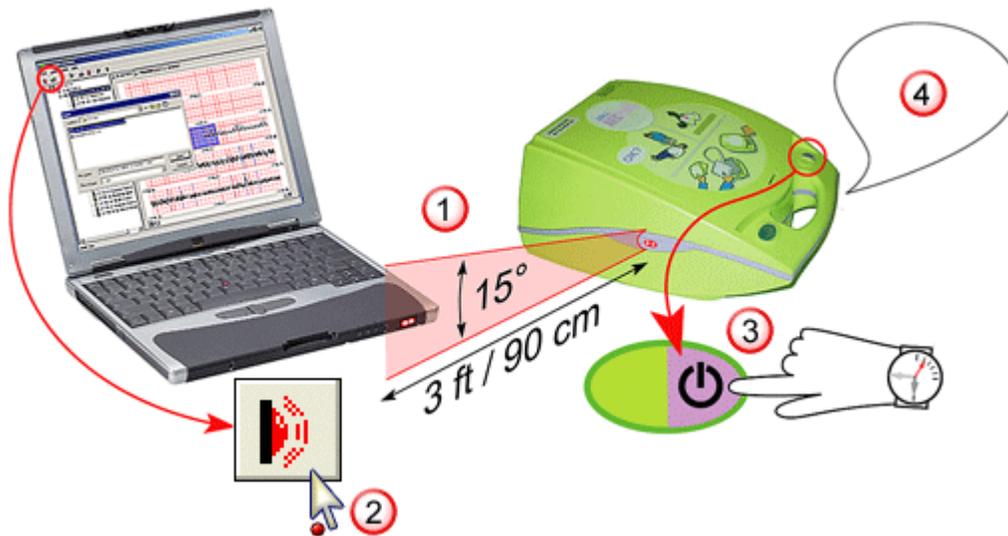
新しい空欄の症例を作成します。除細動器又は AutoPulse の記録は、いつでもインポートすることができます。

「ファイル」メニューから最近表示した 5 症例の 1 つを開きます。



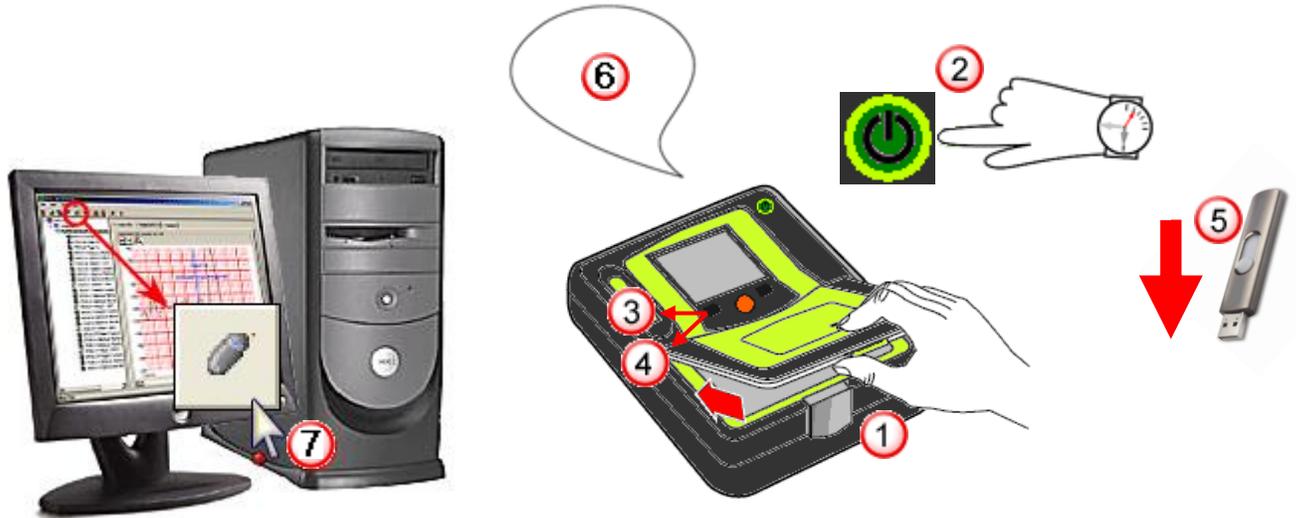
AED Plus/AED Pro から症例をアップロードする

赤外線接続経由で症例をアップロードする



1. AED Plus 又は AED Pro の赤外線ポートが RescueNet Code Review ワークステーションの赤外線ポート又はリーダーとぴったり合うように配置します。
2. Code Review の「赤外線から症例をアップロード」ボタンをクリックします。
3. 除細動器の「オン」ボタンを長押しします。
4. 除細動器から「非救命モードの通信が確立されました」というメッセージが聞こえるまで、「オン」ボタンを押し続けます。
5. Code Review のダイアログボックスに転送の進行状況が表示されます。

USB ドライブから症例をアップロードする



1. AED Pro の上前面にあるカバー留めを外しカバーを上を持ちあげて、バッテリーカバーを外します。
2. AED Pro の電源ボタンを 5 秒間押し続けます。
3. USB と表示された左ソフトキーを押します。
4. New と表示された左ソフトキーを押します。
5. 上右隅のバッテリーの上にある USB ポートに USB ドライブを挿入します。(ゴム製の USB ポートプロテクタを取り外さなければならない場合もあります。)
6. デバイスが挿入されたことを除細動器が認識し、データをダウンロードします。「データのダウンロードが完了しました」という音声が流れます。USB ドライブを外し、コンピュータの USB ポートに挿入します。
7. Code Review の「USB から症例をアップロード」をクリックします。「ドライブを選択」ダイアログが表示されます。USB ドライブのドライブという文字を選択して、OK をクリックします。
8. ダイアログボックスに転送の進行状況が表示されます。

M Series/E Series 又は 1600/1700 から症例をアップロードする

Bluetooth から症例をアップロードする (Bluetooth モジュールを装備した M Series/E Series)



1. Bluetooth を使用できる RescueNet Code Review のワークステーションの近くに除細動器を置きます (Bluetooth は、20~30 フィートを範囲とする全方向式です)。
2. Code Review の「Bluetooth から症例をアップロード」をクリックします。
3. 除細動器の最左にあるソフトキーを押し続けて、除細動器をオンにします。「システムユーティリティ」画面が表示されるまで、ソフトキーを押し続け、表示されたら、「カードをアップロード」ソフトキーを押します。
4. アップロード画面の「送信」ソフトキーを押します。(E Series では、送信を押す前に Bluetooth を必ず押してください)。
5. Code Review 及び除細動器の「進行状況」バーに転送の進行状況が表示されます。

通信速度及び COM ポートを設定する際には、*RescueNet Code Review* の管理の章、症例の転送設定の構成のセクションもご覧ください。

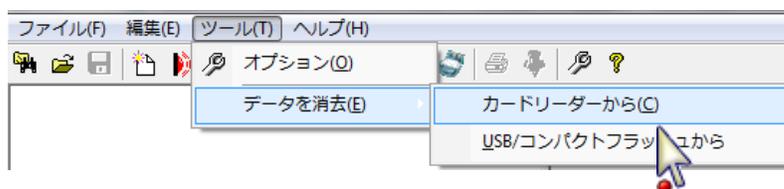
カードリーダーから症例をアップロードする (M Series/E Series 又は 1600/1700)



1. RescueNet Code Review ワークステーションのカードリーダーに除細動器のフラッシュカードを挿入します。

注: カードを挿入すると、ウィンドウズの新しいハードウェアの検出ウィザードがプロンプト表示され、ドライバを検索するように要求されます。Code Review に必要なドライバがインストールされます。ウィンドウズにドライバのプロンプトを再表示しないように通知することで、カードを挿入する度にこのメッセージが表示されないように設定することができます。その場合は、「次へ」を順次クリックして「終了」をクリックします。

2. Code Review の「カードリーダーから症例をアップロード」ボタンをクリックします。進行状況バーに転送の進行状況が表示されます。
3. 転送が完了すると、カードを消去し、M Series/E Series 又は 1600/1700 除細動器のいずれかで再使用することができます。



内部及び外部カードリーダーを設定する方法に関する詳しい情報は、*RescueNet Code Review* の管理手引き「症例の転送設定の構成」セクションをご覧ください。

シリアルから症例をアップロードする (M Series/E Series)



1. 除細動器を RescueNet Code Review ワークステーションのシリアルポートに接続します。M Series/E Series には、弊社の RS-232 Data Transfer Cable (データ転送ケーブル) (弊社部品番号: 8000-0605-01) を必ず使用してください。このケーブルの終点は、DB9 メスコネクターです。1600/1700 には、弊社 1600 Serial Link Cable and Connector (シリアルリンクケーブル及びコネクター) (弊社部品番号 8000-1614) を必ず使用してください。
2. Code Review の「シリアルから症例をアップロード」ボタンをクリックします。
3. 除細動器の最左にあるソフトキーを押し続けて、除細動器をオンにします。システムユーティリティ画面が表示されるまで、ソフトキーを押し続け、表示されたら、「カードをアップロード」ソフトキーを押します。アップロード画面の「送信」ソフトキーを押します。E Series では、「送信」を押す前に「RS 232」を押す必要があります。
4. Code Review 及び除細動器の「進行状況」バーに転送の進行状況が表示されます。

注: 1600/1700 除細動器を使用するシリアルアップロードについては、1600/1700 の取扱説明書をご覧ください。

通信速度及び COM ポートを設定する詳しい方法は、*RescueNet Code Review* の管理手引き、「症例の転送設定の構成」のセクションをご覧ください。

Propaq M/MD 又は X Series から症例をアップロードする

オープンの症例から症例をアップロードする

1. 除細動器で利用できる症例をデバイスからリムーバブル USB デバイスにコピーするには、取扱説明書の説明に従ってください。
リムーバブルデバイスにコピーする方法については、以下の資料をご覧ください。

- X Series 取扱説明書 (9650-001355-36 Rev. A)
- Propaq® MD 取扱説明書 (9650-0802-01 Rev. C)
- Propaq® M 取扱説明書 (9650-0803-01 Rev. B)

2. USB デバイスをコンピュータに接続します。
3. Code Review の「開く」をクリックします。
4. USB デバイスを閲覧します。
5. 「.tdp case」ファイルを選択して開きます。
6. Code Review では、症例ごとに「.zol」ファイルが作成され、既定のデータディレクトリに保存されます。



USB から症例をアップロードする

1. 除細動器で利用できる症例をデバイスからリムーバブル USB デバイスにコピーするには、取扱説明書の説明に従ってください。

リムーバブルデバイスにコピーする方法については、以下の資料をご覧ください。

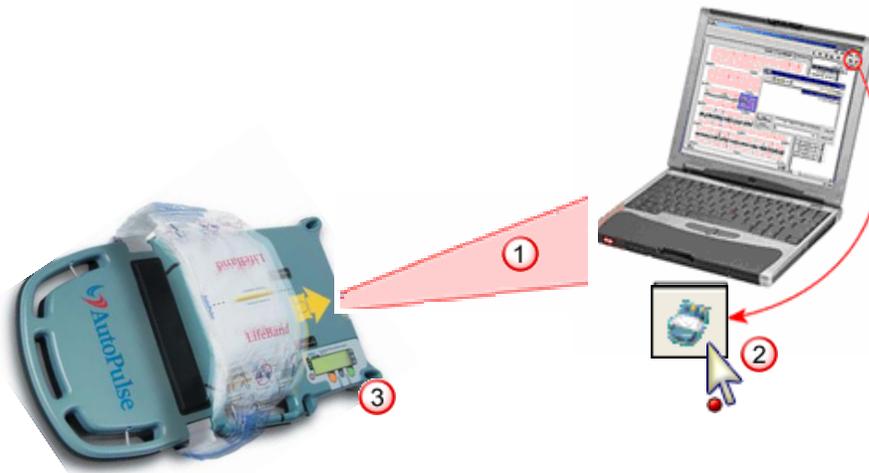
- X Series 取扱説明書 (9650-001355-36 Rev. A)
- Propaq® MD 取扱説明書 (9650-0802-01 Rev. C)
- Propaq® M 取扱説明書 (9650-0803-01 Rev. B)

2. USB デバイスをコンピュータに接続します。
3. Code Review の「USB から症例をアップロード」ボタンをクリックします。「ドライブを選択」ダイアログが表示されます。USB ドライブのドライブという文字を選択して、OK をクリックします。
4. ダイアログボックスに転送の進行状況が表示されます。



AutoPulse から症例をアップロードする

赤外線接続経由で症例をアップロードする



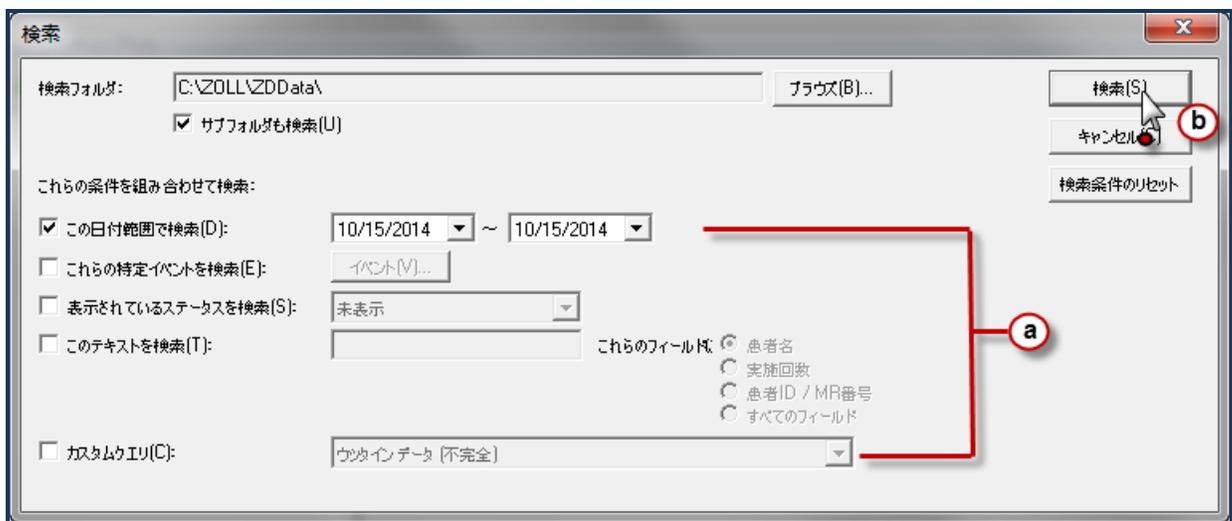
1. AutoPulse の赤外線ポートが RescueNet Code Review ワークステーションの赤外線ポート又はリーダーとぴったり合うように配置します。
2. Code Review の「AutoPulse から症例をアップロード」ボタンをクリックします。
3. AutoPulse の電源を入れます。「メニュー」キーを押します。通信モードに入るを選択します。「ENTER」キーを押します。
4. Code Review のダイアログボックスに転送の進行状況が表示されます。

以前にアップロードした症例を検索する

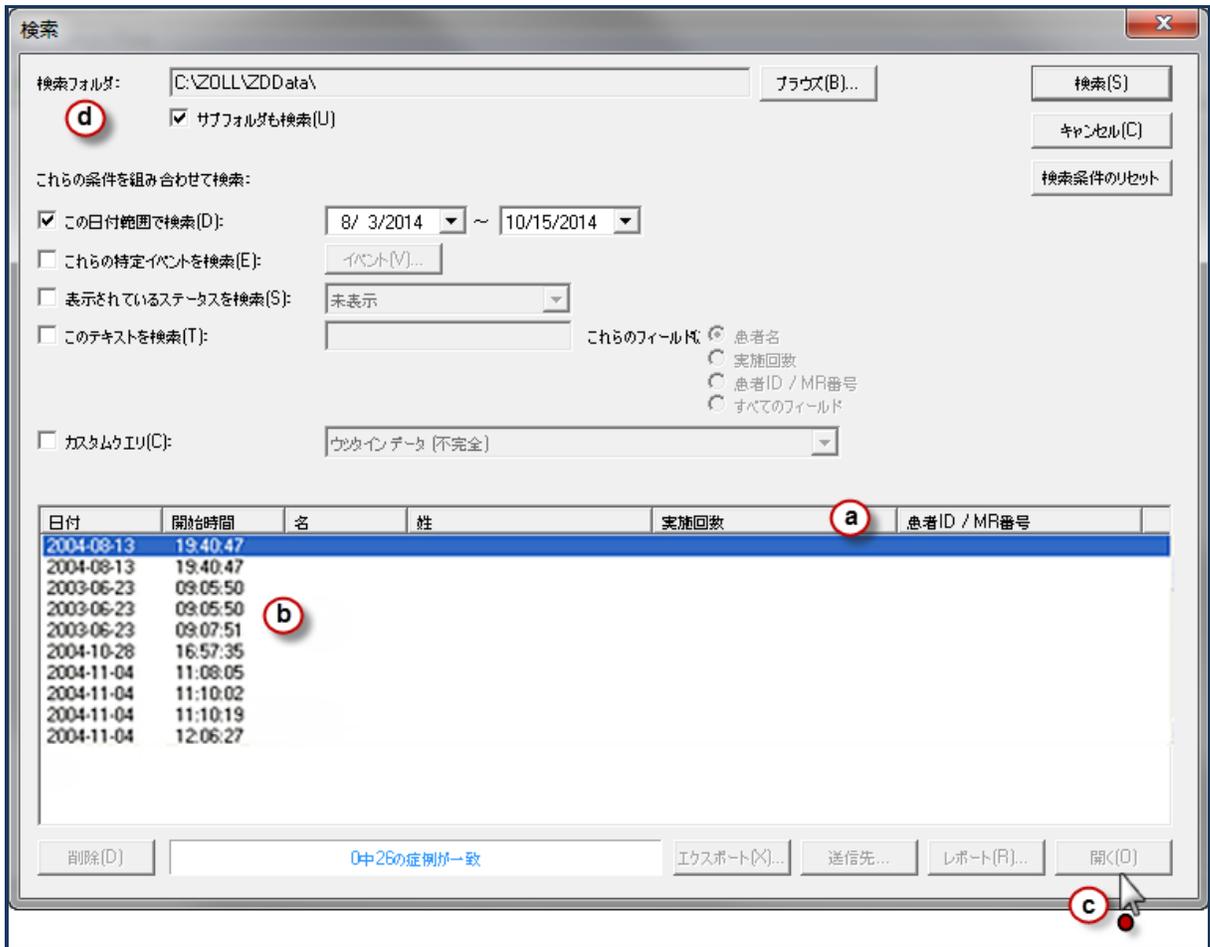
1. 「検索」ボタンをクリックします。



2. 基準の組み合わせ(a)を選択してから、検索(b)をクリックします。



3. 基準に一致するすべての症例が一覧表示されます。列のヘッダーのどれかをクリックしてその列を並べ替え(a)、開きたい症例を選択してから(複数可)(b)、「開く」(c)をクリックすることができます。



日付	開始時間	名	姓	実施回数	患者ID / MR番号
2004-08-13	19:40:47				
2004-08-13	19:40:47				
2003-06-23	09:05:50				
2003-06-23	09:05:50				
2003-06-23	09:07:51				
2004-10-28	16:57:35				
2004-11-04	11:08:05				
2004-11-04	11:10:02				
2004-11-04	11:10:19				
2004-11-04	12:06:27				

注: 症例を既定データファイルの位置サブフォルダにアーカイブ又はソートする場合には、「サブフォルダも検索する」オプション(d)を使うことで、既定データファイルの位置フォルダと同時にそのフォルダを検索できるようになります。

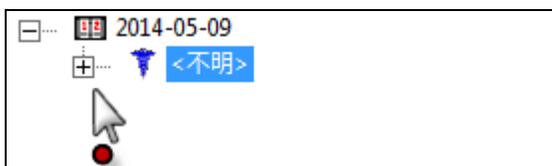
3章 症例の表示

症例ツリーのナビゲート

1. 症例の日付。



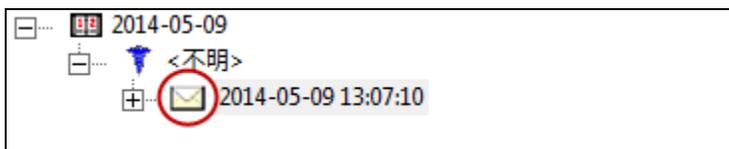
2. 患者の名前。



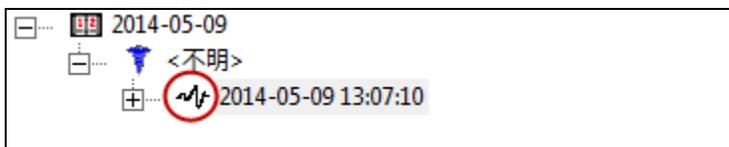
3. 症例 ID(実施回数があれば、日時の次に表示される)。



症例は最初、「未表示」の状態を開きます。



5 秒後、この状態は「表示済み」に変わります。



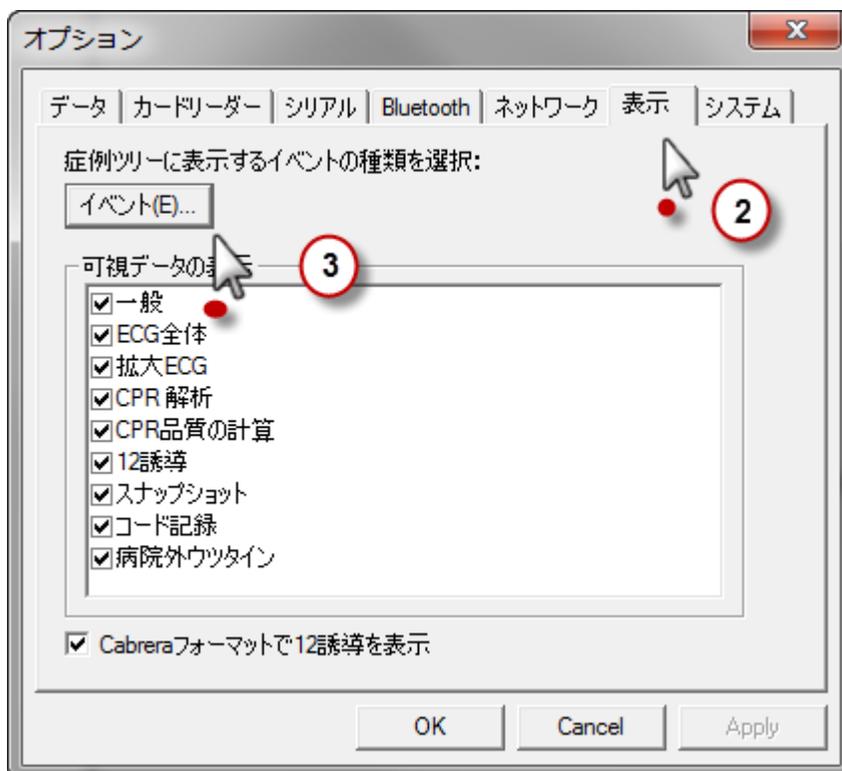
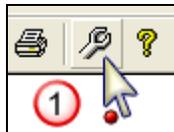
4. 症例イベント(イベントをクリックすると、そのデータがタブに表示されます)。

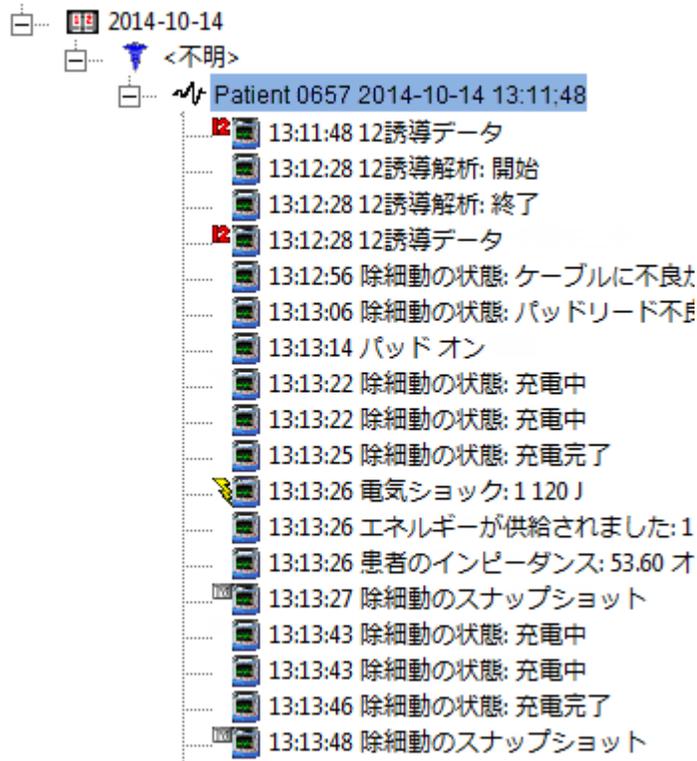
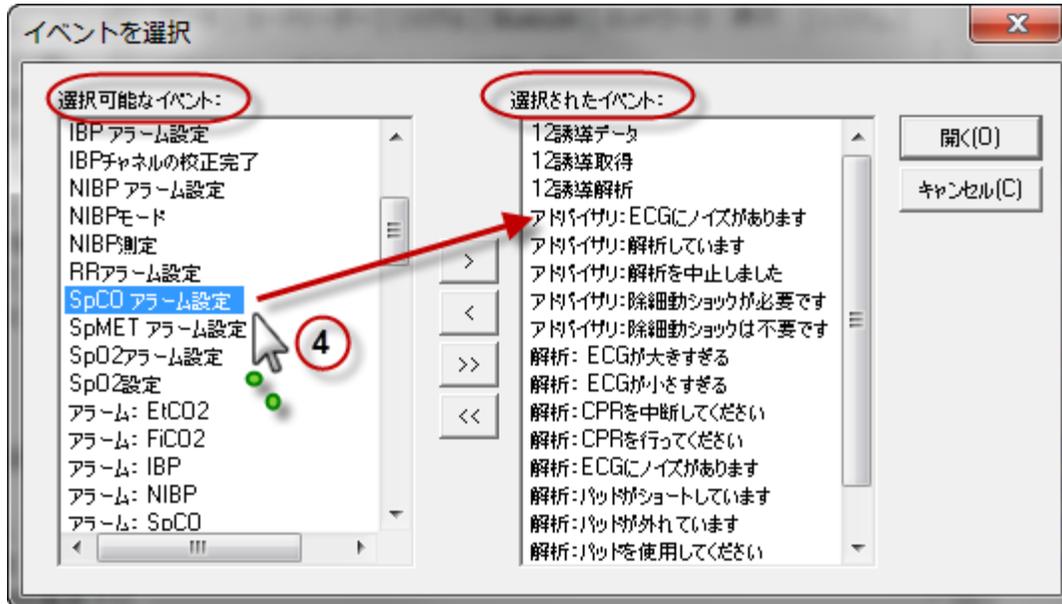


-  M Series イベント
-  M Series 電気ショック
-  M Series 12 誘導イベント
-  E Series イベント
-  E Series 電気ショック
-  E Series 12 誘導イベント
-  X Series/Propaq イベント
-  X Series/Propaq 電気ショック
-  X Series/Propaq 12 誘導イベント
-  AutoPulse イベント
-  AED Pro イベント
-  AED Pro 電気ショック
-  AED Plus イベント
-  AED Plus 電気ショック
-  1600/1700 イベント
-  1600/1700 電気ショック

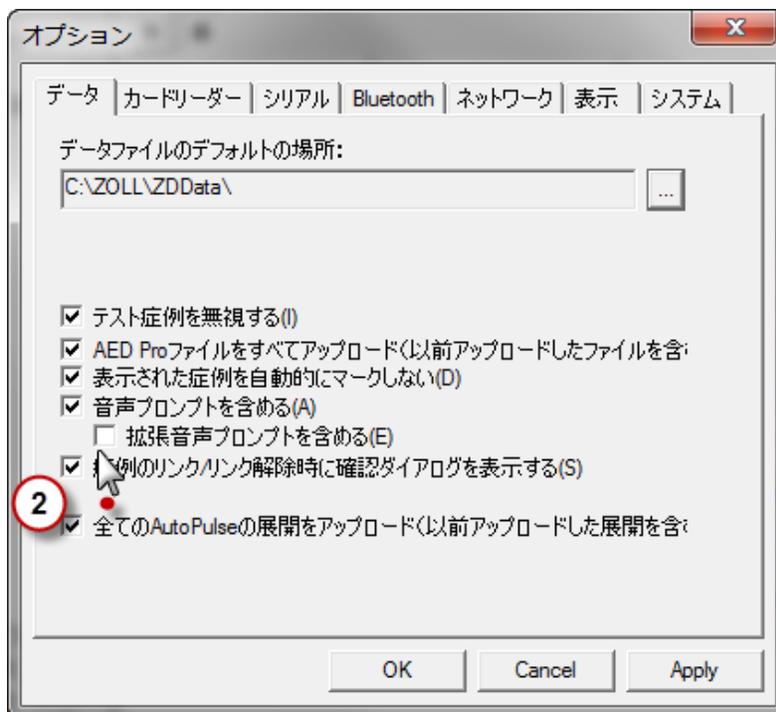
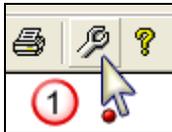
 ユーザーが追加した備考

表示するイベントの種類を選択する



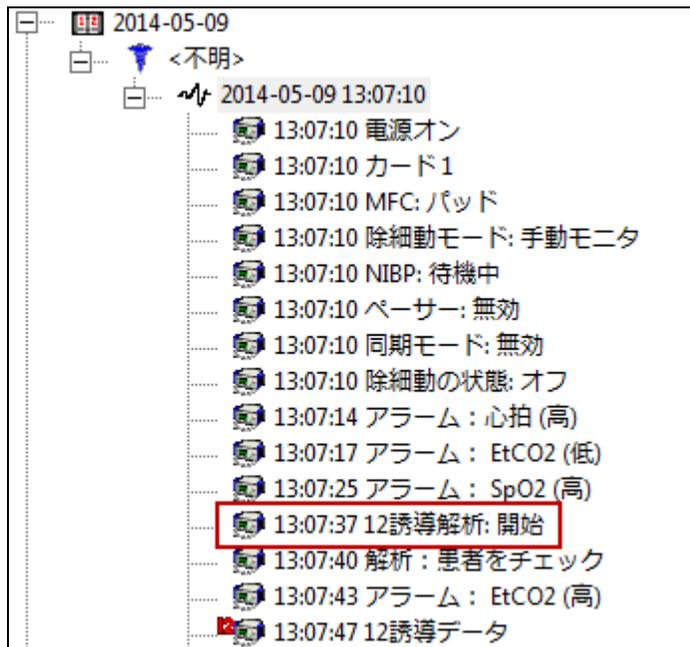


音声メッセージのオンとオフを切り替える (AED Plus/AED Pro)

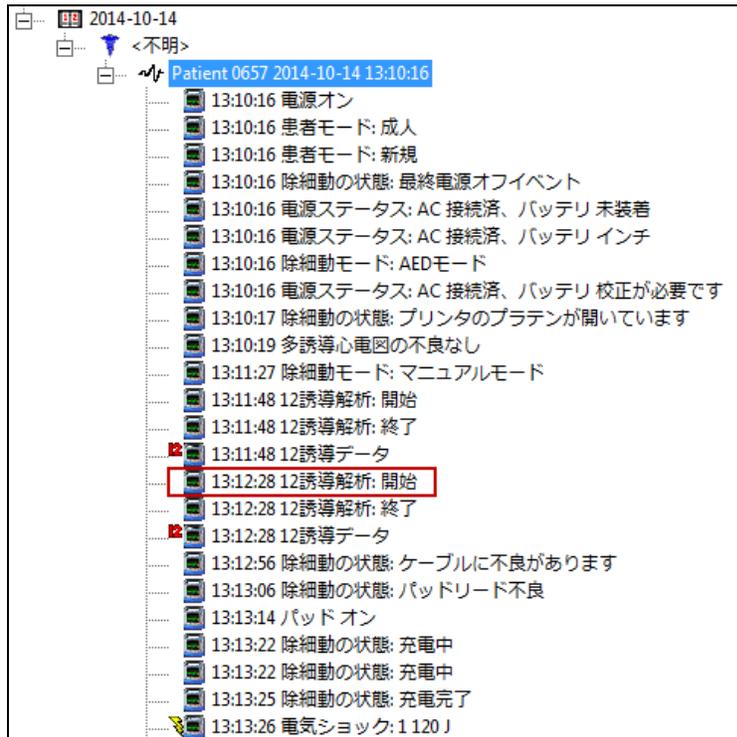


注: 音声メッセージの設定に応じて変わる症例ツリーのサイズの条件については、以下をご覧ください。

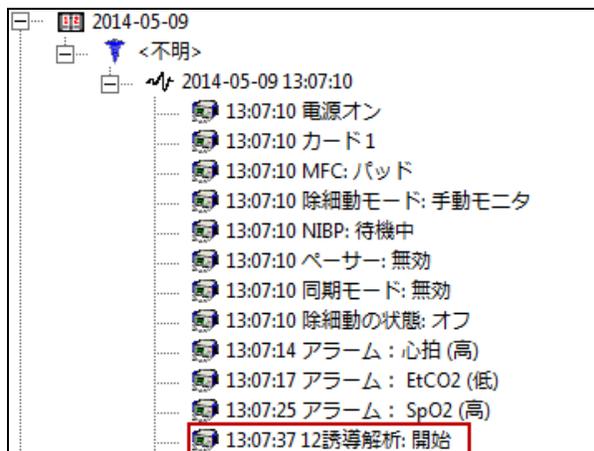
既定の表示 - 音声メッセージが含まれます。



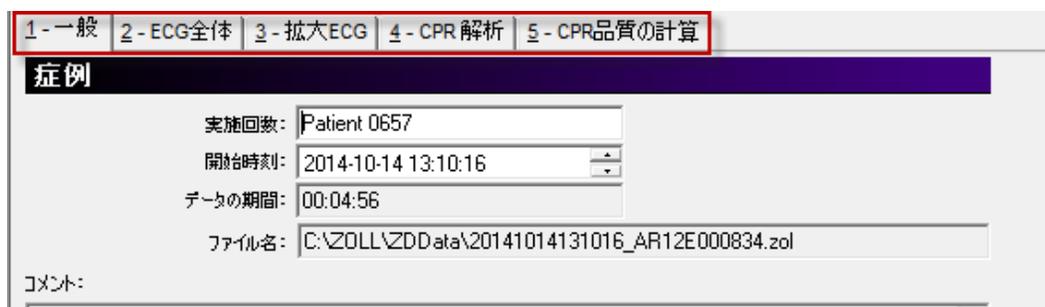
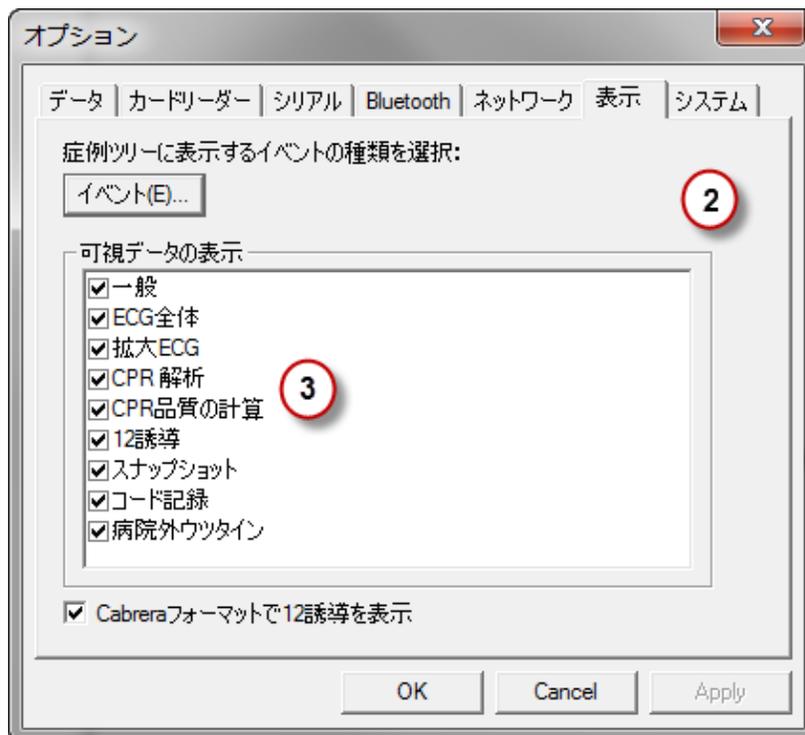
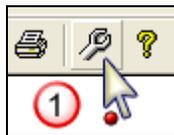
オプション表示 1 – 拡張音声メッセージが含まれます。



オプション表示 2 – 音声メッセージをオフにします。



表示するデータのタブを選択する



注: 12誘導、コード記録及び病院外ウツタインのタブは、RescueNet Code Review (Enterprise Edition)に限り利用することができます。

一般的事項

1 - 一般	2 - ECG全体	3 - 拡大ECG	4 - CPR解析	5 - CPR品質の計算
--------	-----------	-----------	-----------	--------------

症例

実施回数: Patient 0657

開始時刻: 2014-10-14 13:10:16

データの期間: 00:04:56

ファイル名: C:\ZOLL\ZDData\20141014131016_AR12E000834.zol

コメント:

除細動器

デバイスの種類: ZOLL® X Series® 除細動器

シリアル番号: AR12E000834 (02.09.06.00)

デバイスID: LHB AMB01

電源オン時刻: 2014-10-14 13:10:16

電源オン調整時刻: 2014-10-14 13:10:16 調整(C)...

操作者:

患者

患者ID / MR番号:

姓:

名:

ミドルネームのイニシャル: 一般:

性別:

人種:

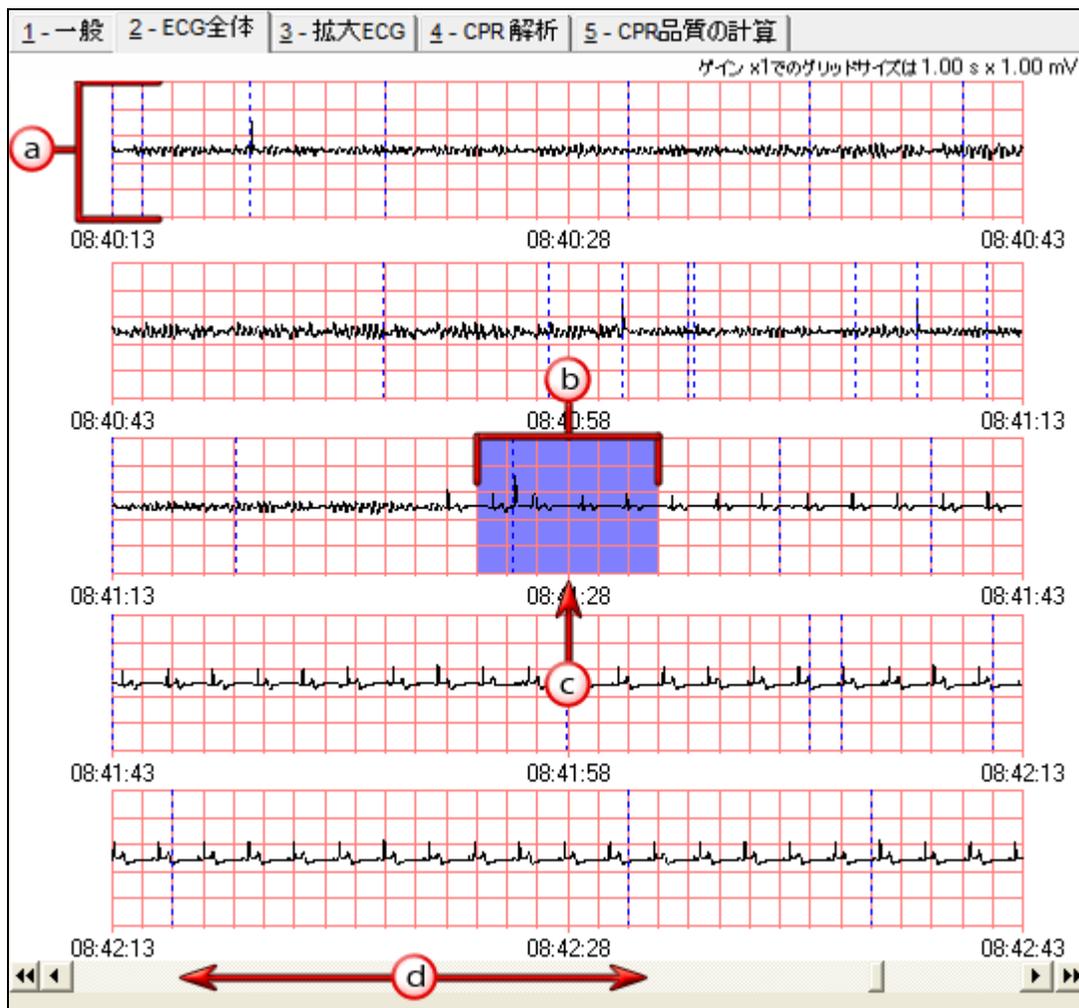
生年月日: 1900-01-01 不明

身長: 寸

体重: lbs

AutoPulse	
シリアル番号:	...
モデル:	...
ソフトウェアバージョン:	...
展開ID:	...

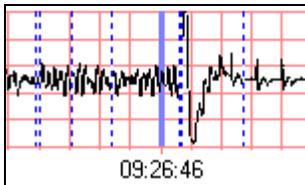
ECG 全体



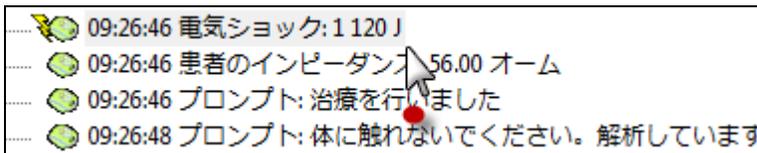
- ゲイン×1のグリッドサイズは 1.00 秒×1.00 mV
- 6 秒間の基準ボックス
- 中間点
- スクロールバーの矢印をクリックして、00:00:30 分だけ移動します。スクロールボックス内をクリックして、00:02:00 分だけ移動します。

拡大 ECG と動画

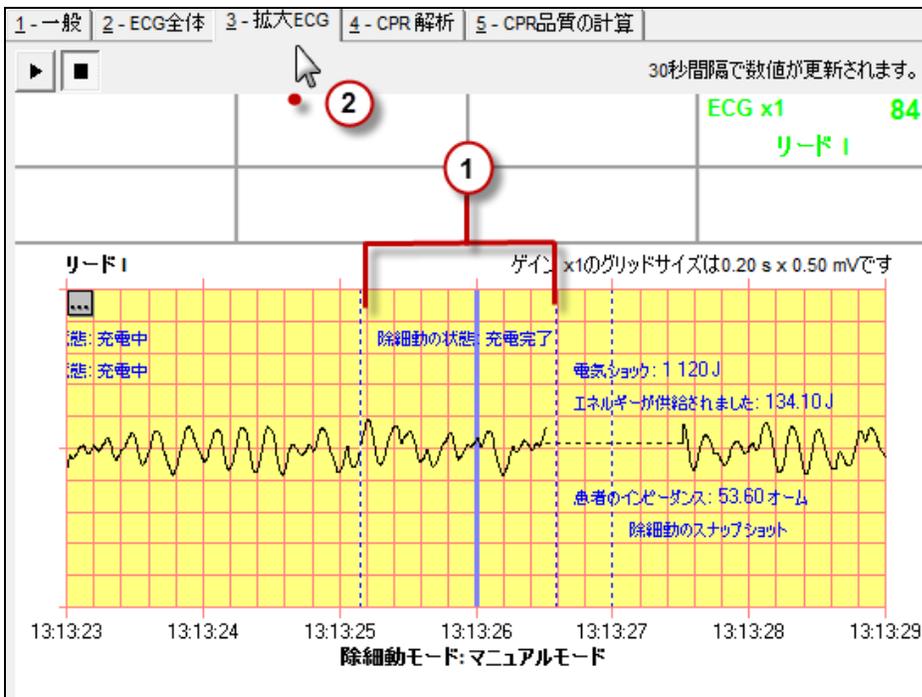
ECG の拡大部分を表示するには、ECG 全体の拡大したい部分をクリックします。



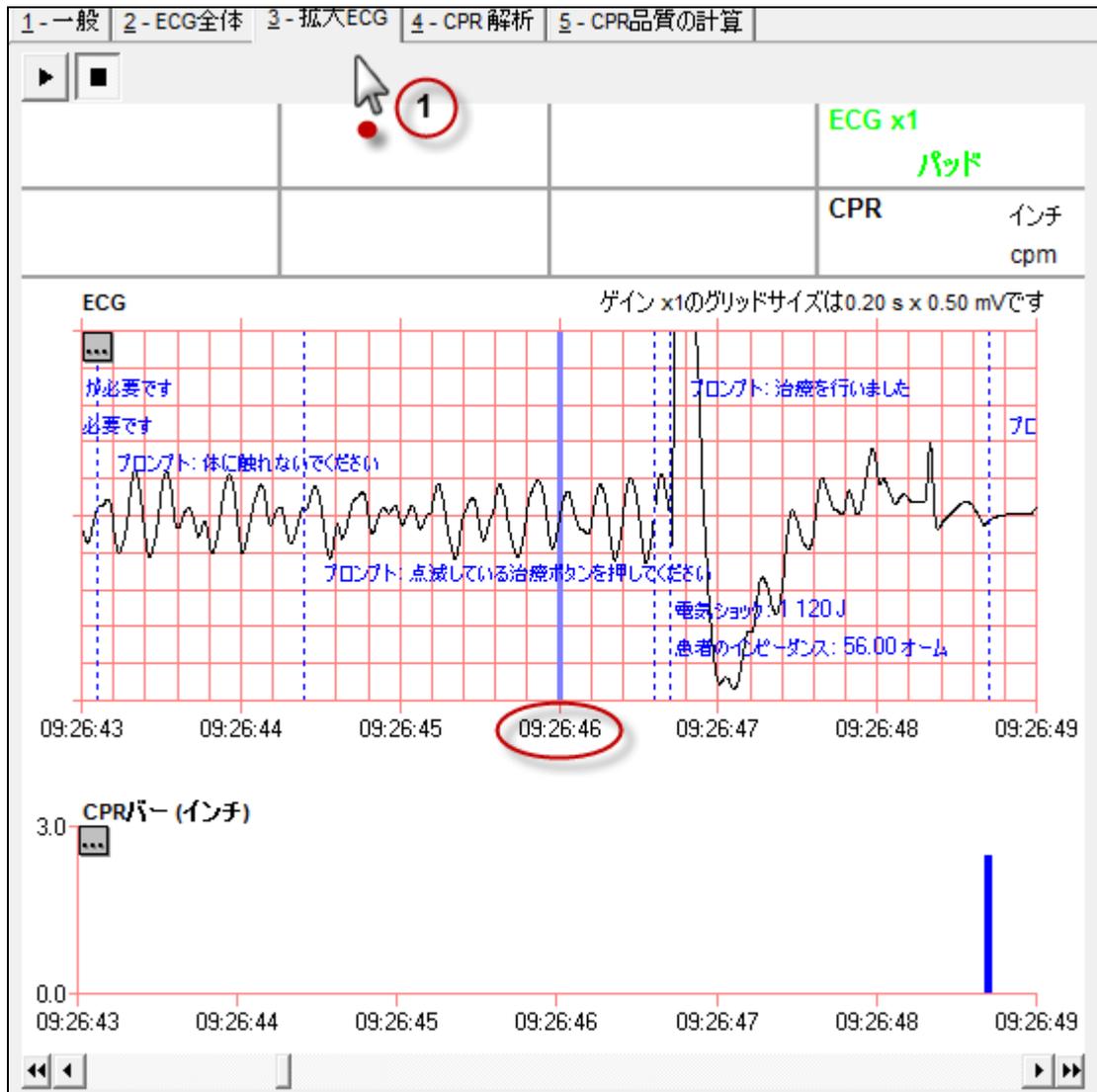
あるいは、症例ツリーの中で拡大したいイベントをクリックします。



また、基準ボックスの ECG 全体画像の一部を表示するには、3 (拡大 ECG) のタブをクリックします。

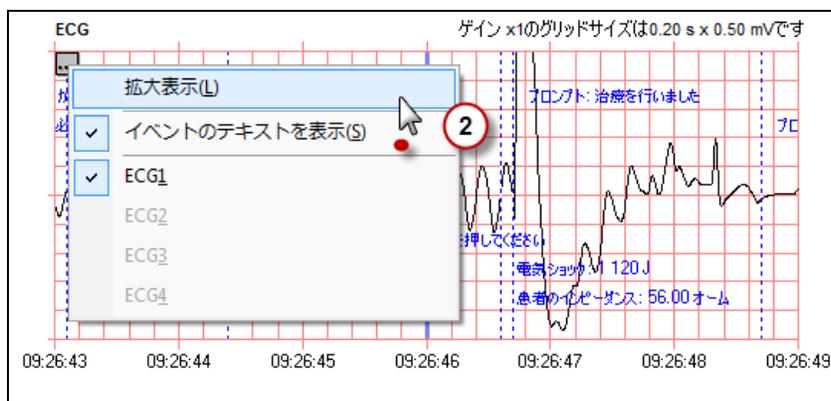
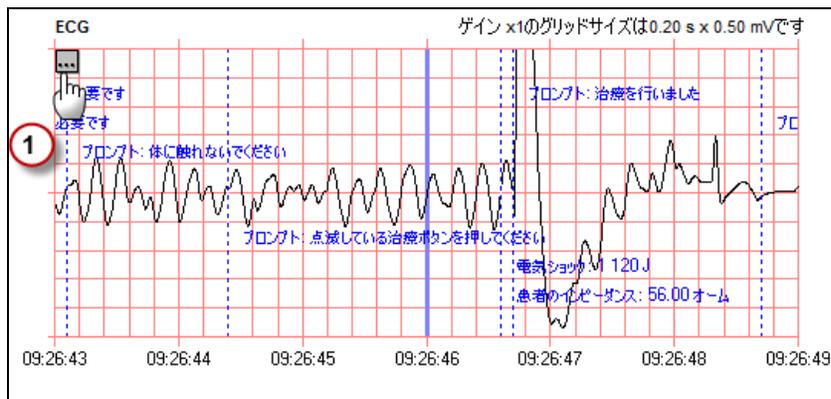


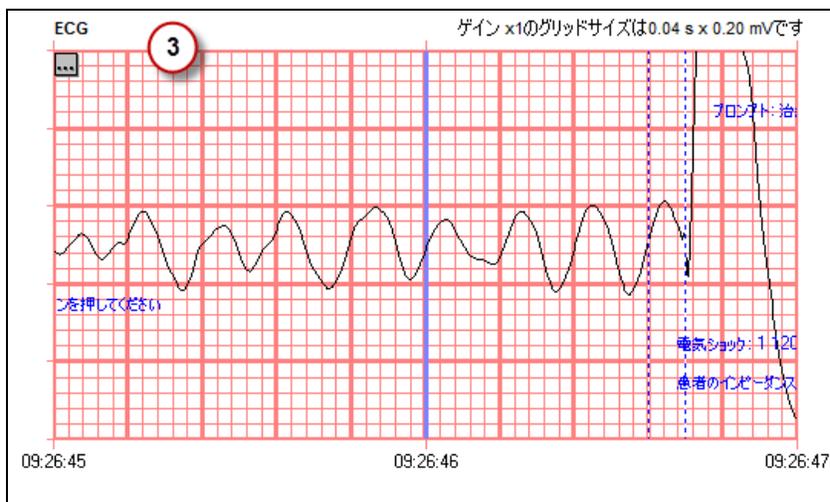
拡大 ECG のタブに ECG の選択した部分が表示されます。



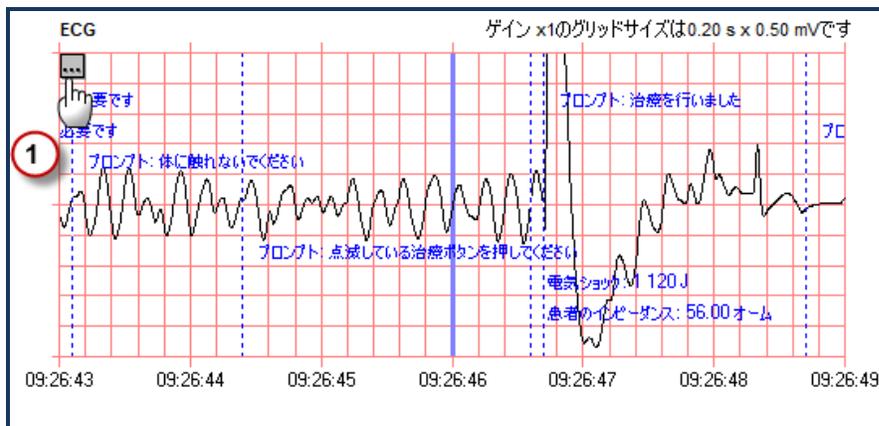
 = ECG 操作ボタンの動画。

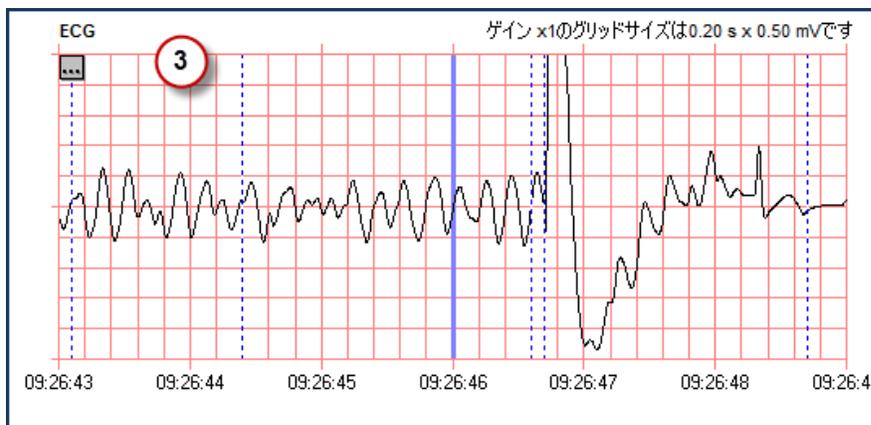
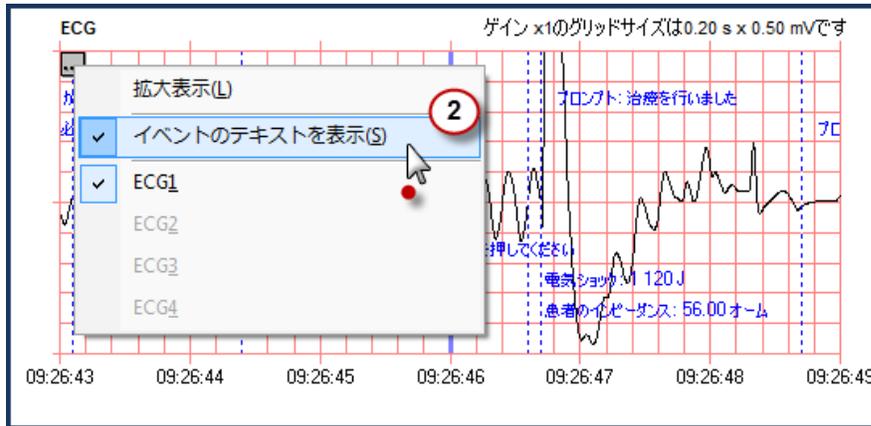
拡大 ECG—大きく表示する





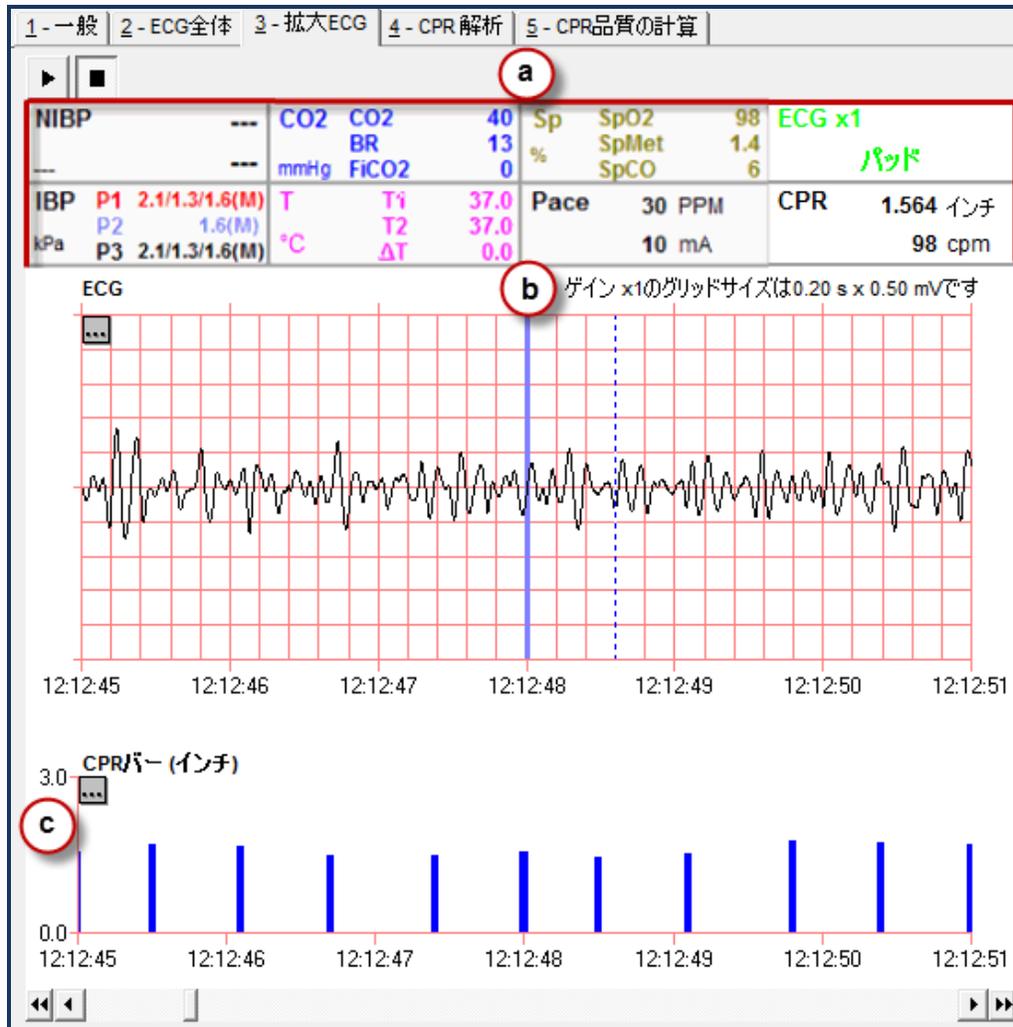
拡大 ECG イベントのテキストを表示する





詳細オプション

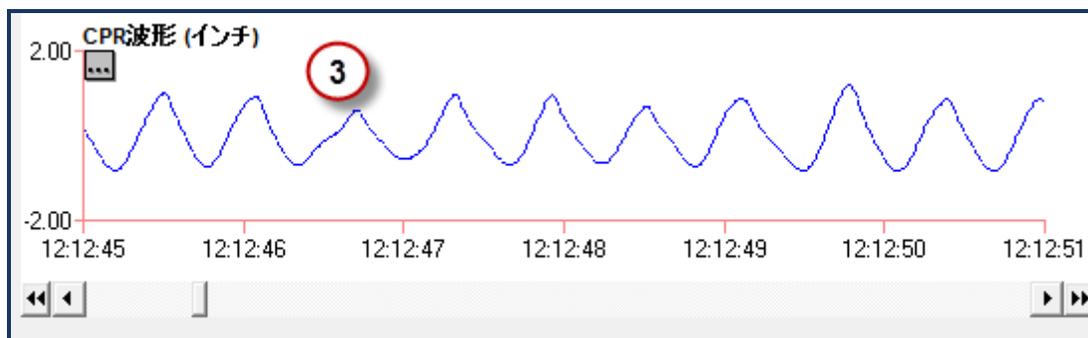
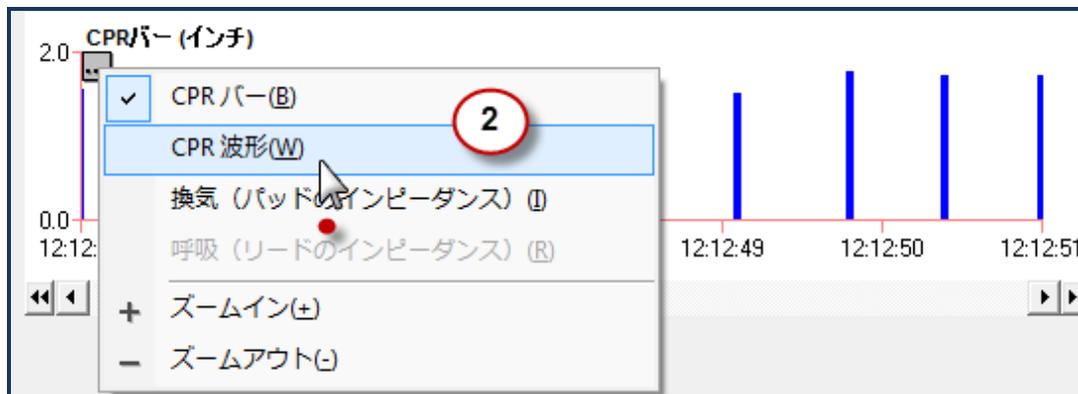
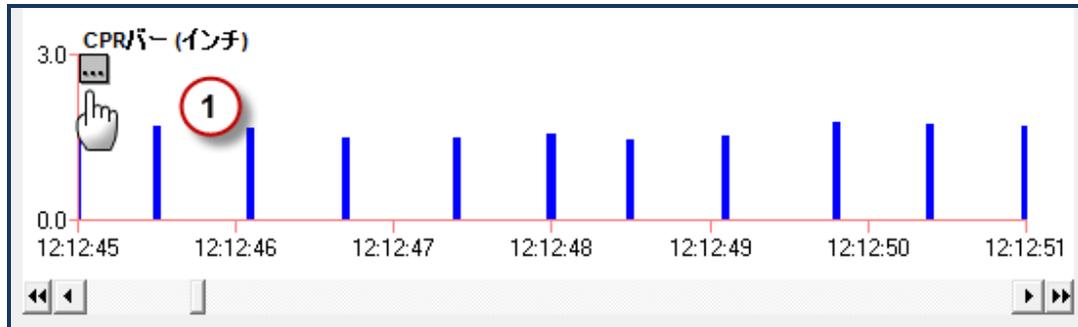
RescueNet Code Review (Enterprise Edition)では、拡大 ECG タブに詳細オプションが表示されます。



- 中間点
- 詳細オプションの中間点測定値
- 下のグラフには、詳細オプションの波形が表示されます。

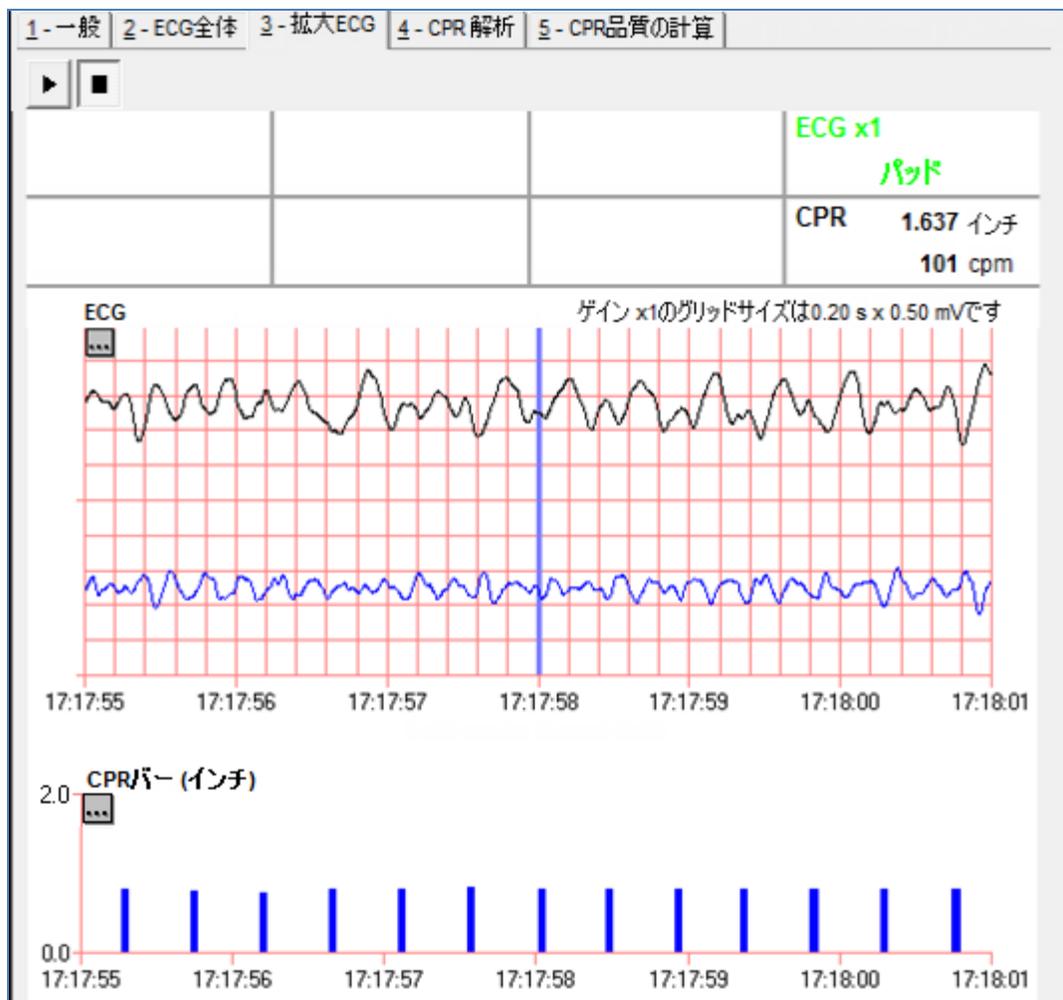
注: Propaq M/MD 又は X Series の使用中は、30 秒間隔で数値が変わります。

下のグラフの表示を変更するには、



CPR (AED Plus/AED Pro/M Series/E Series/X Series/R Series)

拡大 ECG タブには、CPR の圧迫深度及び圧迫速度の測定値と、CPR のバーグラフを表示することができます。



注: CPR は、除細動器のソフトウェアバージョンと設定に応じて記録することができます。

補正済み ECG

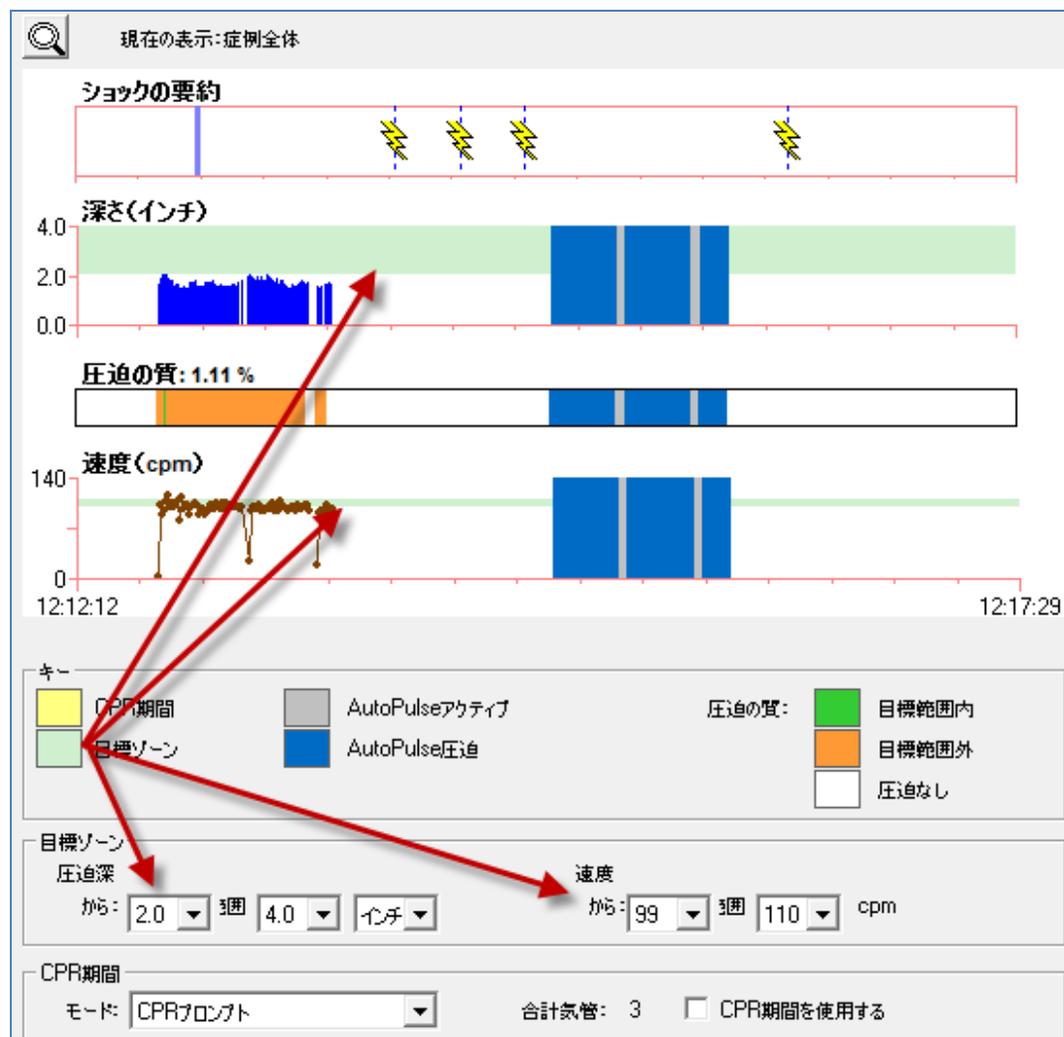
除細動器で補正済み ECG が記録されると、ECG には 2 つの波形が描出されます。グラフ上部には、補正前の波形が表示され、下部には青い補正済み波形が表示されることが上の画像からわかります。

CPR 解析

AED Plus、AED Pro、M Series、E Series、R Series、X Series で CPR-D-Padz を使用して記録された症例には、CPR 解析を利用することができます。CPR 解析では、マニュアル情報と AutoPulse の圧迫情報も対象となります。

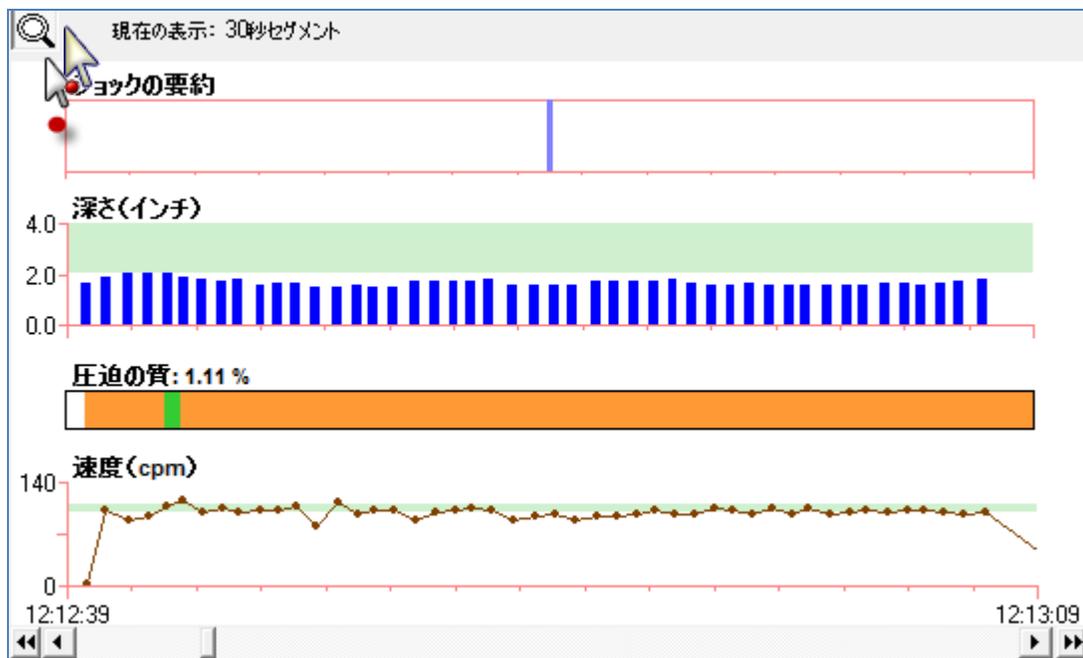
目標ゾーン

圧迫速度と深度の精度を測定するため、目標ゾーンを設定することができます。



表示範囲

虫眼鏡をクリックして、症例全体から 30 秒セグメントに表示範囲を変更します。

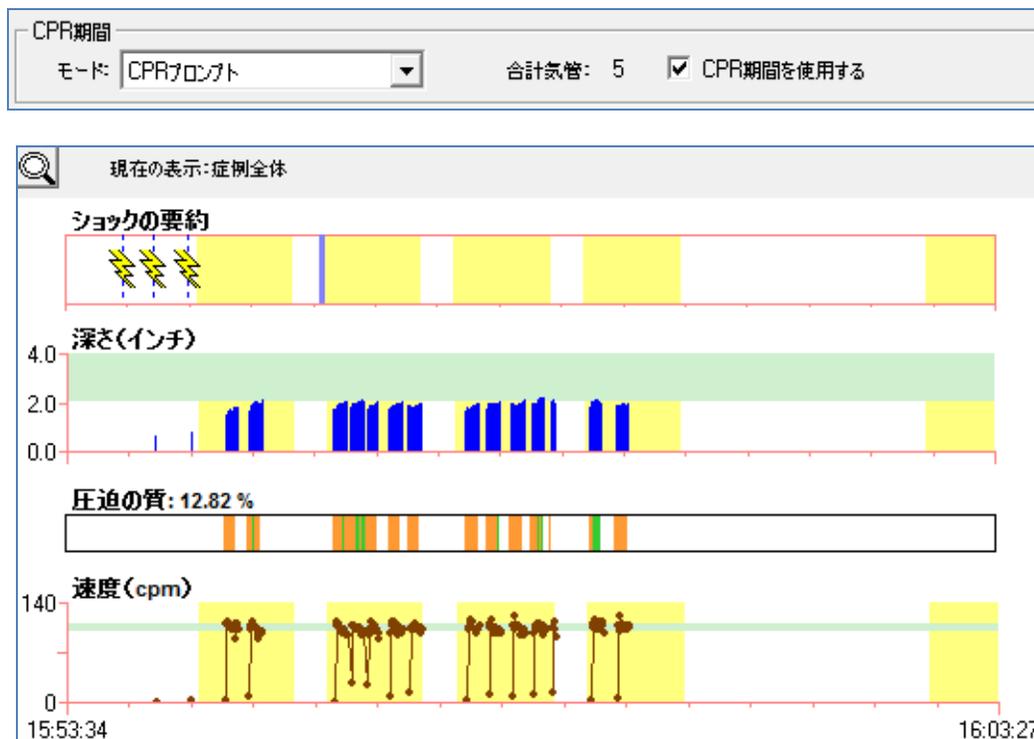


CPR の期間

CPR の期間によって、CPR のサマリに含まれる圧迫データが決まります。決められた CPR 期間以外に記録された圧迫は無視されます。1 症例に対して CPR 期間を決定する方法は、次の 2 つがあります。

- **CPR プロンプト**(自動) – 症例中に記録された除細動器の圧迫開始/停止のプロンプトの回数によって決まります。
- **ユーザー定義済み**(マニュアル) – 「ECG 全体」又は「拡大 ECG」タブにユーザーが書き込んだ CPR 期間の開始/終了によって決まります。

CPR 期間を定義するモードと、Code Review のすべてのグラフに黄色の境界線を表示するかどうかを選択することができます。ユーザーに合わせた境界線の合計数が(自動又はマニュアルで描出)算出されます。

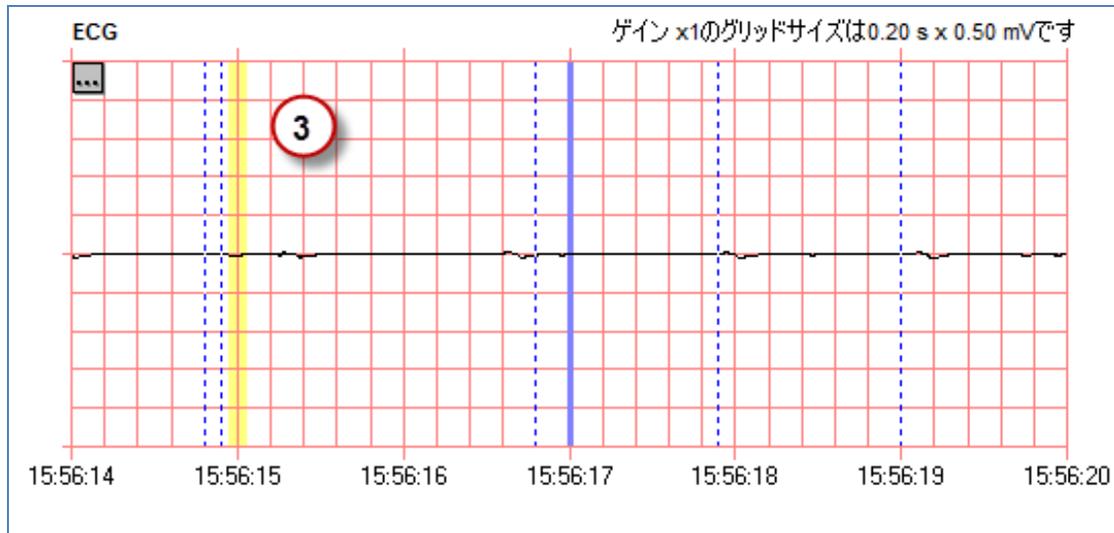
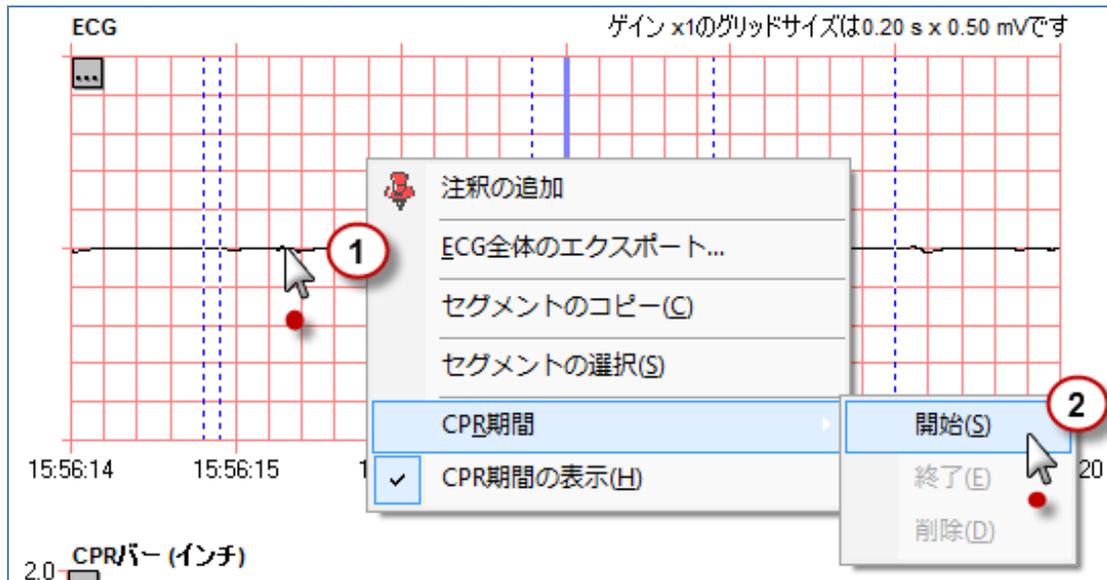


注: マニュアルモードで実行中の除細動器の自動境界線(CPR プロンプトモード)は、最初の「CPR-D Padz オン」から最後の「CPR-D Padz オフ」又は症例終了によって決まります。

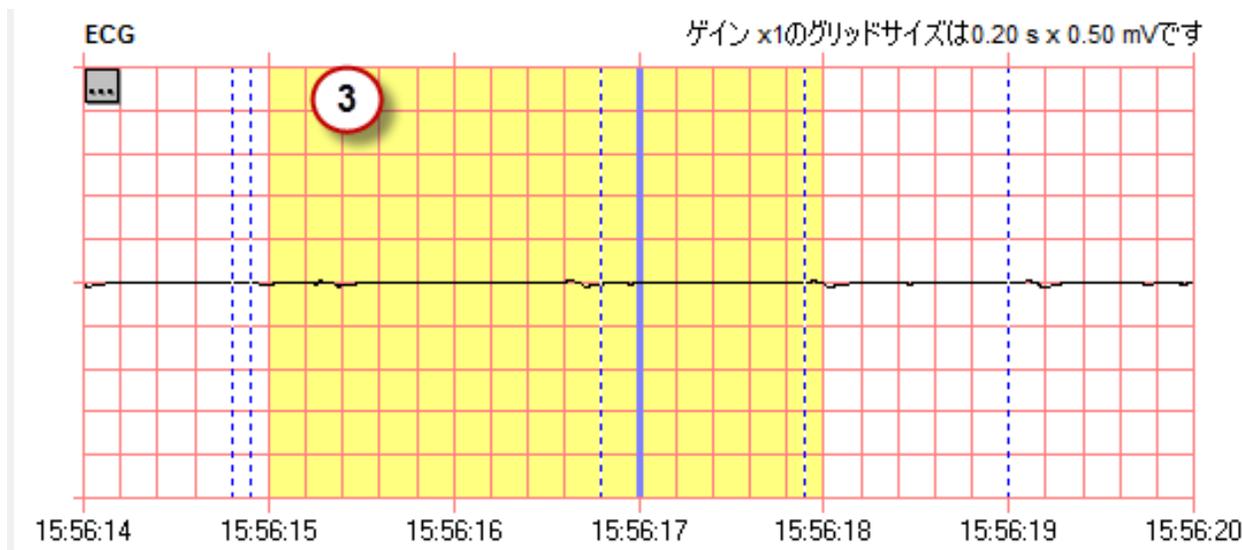
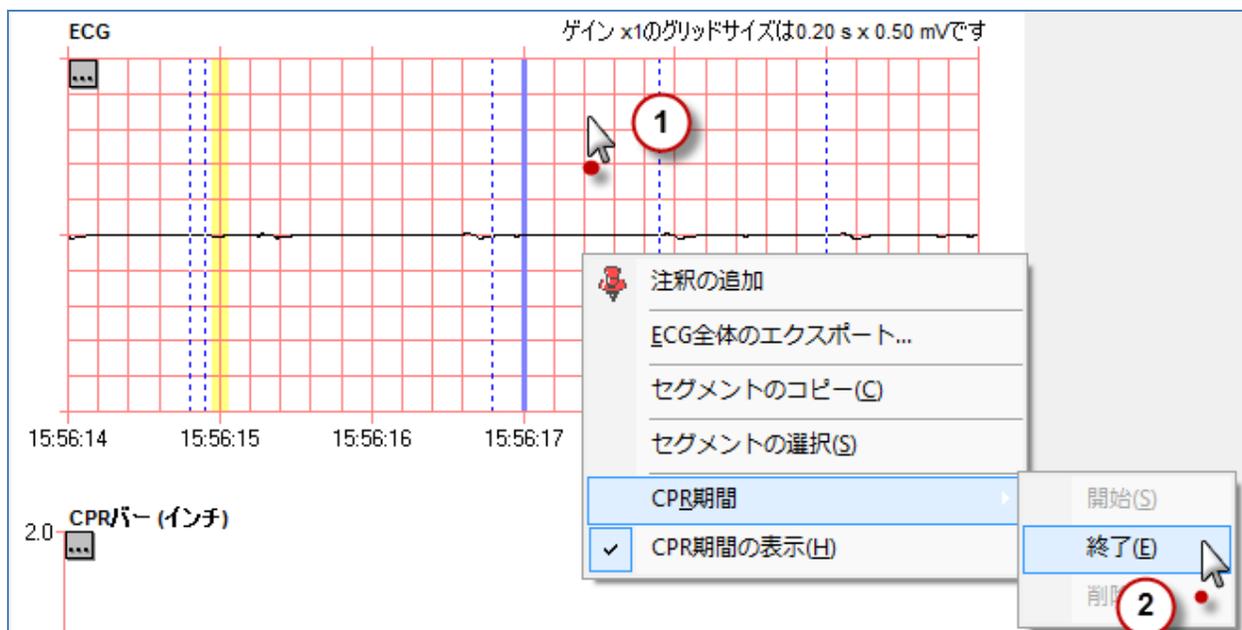
注: AutoPulse から送信される圧迫データは、自動書き込みされる CPR 境界線には含まれないため(CPR プロンプトモード)、ユーザー定義済みモードで手動書き込みを行う必要があります。

注: CPR 期間の境界内の速度グラフに描出された点だけをつなぎます。

拡大 ECG タブにユーザー定義の CPR 期間を作成するには、まず境界線の設定を開始します。



境界を終了するには、



要約

「要約」のセクションには、決められた CPR 期間の解析が表示されます。

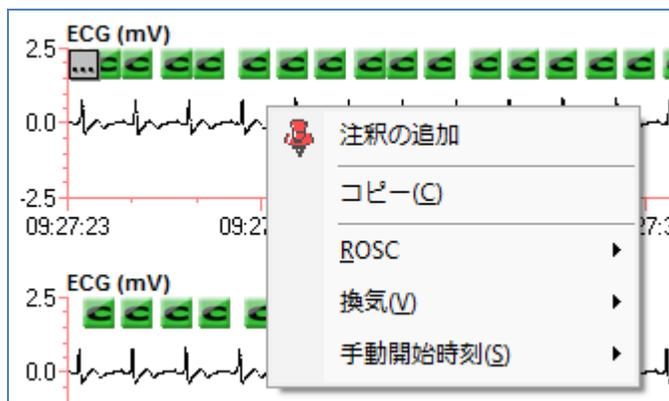
要約			
キー表示			
	マニュアル		AutoPulse
	最初の圧迫までの平均時間:	00:01:41	---
	圧迫を中止してから電気ショックを与えるまでの平均時間:	00:00:56	---
	電気ショックを与えてから圧迫を開始するまでの平均時間:	00:00:45	---
	圧迫の深さの平均:	1.90 インチ	
	圧迫速度の平均:	97.23 cpm	
症例全体			
	症例の期間:	00:09:53	
	CPRの時間:	00:04:53 (49.41 %)	
	CPR以外の時間:	00:05:00 (50.59 %)	
CPR期間			
	マニュアル		AutoPulse
	圧迫の時間:	00:01:56 (39.59 %)	---
	圧迫以外の時間:	00:02:57 (60.41 %)	---
	目標範囲内の圧迫:	12.82 %	
	圧迫深さ:		
	標準偏差:	0.14 インチ	
	目標ゾーン超過:	0 (0.00 %)	
	目標ゾーン内:	40 (20.51 %)	
	目標ゾーン未滿:	155 (79.49 %)	
	速度:		
	標準偏差:	25.04 cpm	
	目標ゾーン超過:	29 (14.87 %)	
	目標ゾーン内:	117 (60.00 %)	
	目標ゾーン未滿:	49 (25.13 %)	

CPR 品質の計算

CPR 品質の計算タブには、時系列の心電図波形データと、CPR 品質パラメータの分単位解析の結果が表示されます。データが記録されると、圧迫と換気を示すマーカーがタイムラインに自動的に記録されます。換気と心拍再開(ROSC)期間を手動で追加することができます。

タイムライン

最初のグラフにあるコンテキストメニューボタンを右クリックして、タイムラインに表示する波形を選択します。



4つの心電図波形グラフに1分間分が表示されます。上のタブにある「分」のドロップダウン・リストを使用して、波形データを表示する分数を選択することができます。



また、波形グラフの下にあるスクロールバーの矢印を1分ずつ前後に動かすか、症例の最初又は最後に飛ぶこともできます。

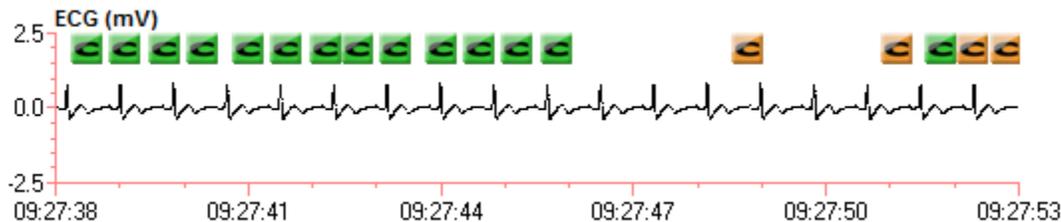


圧迫及び換気の注釈を記録する

除細動器が保存した圧迫データをもとに圧迫マーカーが作成されます。また、データ取得後には、パッド又はリードから求めたインピーダンスや、CO₂ から検出された呼吸を示す換気マーカーの注釈も記録されます。また、タイムラインにも換気マーカーの注釈を手動で記録することができます。

C マーカー

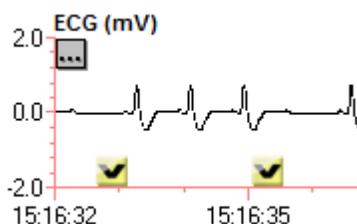
圧迫には、太字の **C** アイコンが記されます。緑色は、圧迫深度の範囲を意味し、オレンジ色は、範囲外の圧迫深度を意味しています。圧迫深度の範囲は、CPR 解析タブで設定します。深度範囲の目標ゾーンの設定方法は、[CPR 解析](#)タブ、目標ゾーンをご覧ください。



注: 圧迫マーカーを手動で追加したり削除することはできません。

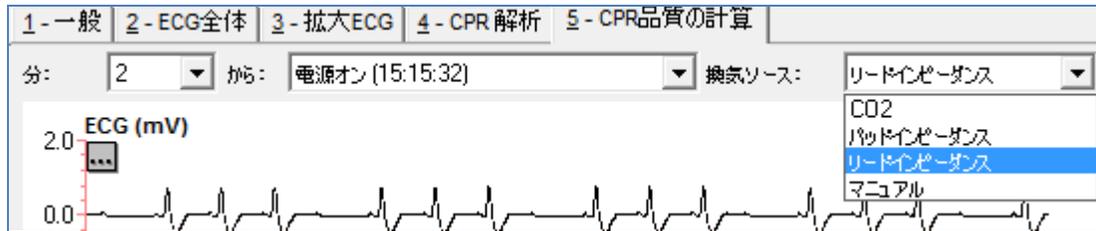
V マーカー

換気／呼吸には、太字の **V** アイコンが記されます。



注: 自動作成された換気マーカーはタイムラインの高い位置に、手動で記録したマーカーはタイムラインの低い位置に表示されます。

表示される換気マーカーは、ユーザー選択した「換気ソース」によって決定されます。「換気ソース」メニューは、タブの最上部から利用することができます。初期設定は「CO₂」となります。



CO2: CO2 データに呼吸検出の情報が含まれると、CO2 ベースの換気マーカの注釈が自動的に記録されます。

パッドインピーダンス: パッドインピーダンスのデータを取得すると、パッドインピーダンスベースの換気マーカの注釈が自動的に記録されます。

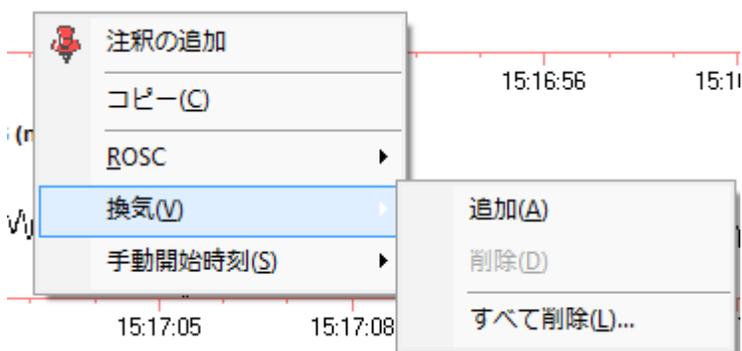
リードインピーダンス: リードインピーダンスのデータを取得すると、リードインピーダンスベースの換気マーカの注釈が自動的に記録されます。

マニュアル: ユーザーが作成した換気マーカがタイムラインに表示されます。

注: 新しい換気ソースを選択すると、選択した換気マーカの設定がタイムラインに書き込みされます。

換気マーカの追加、削除

タイムラインを右クリックしてから **換気**、**追加** 又は **削除** の順に選択して、換気マーカを追加又は削除することができます。

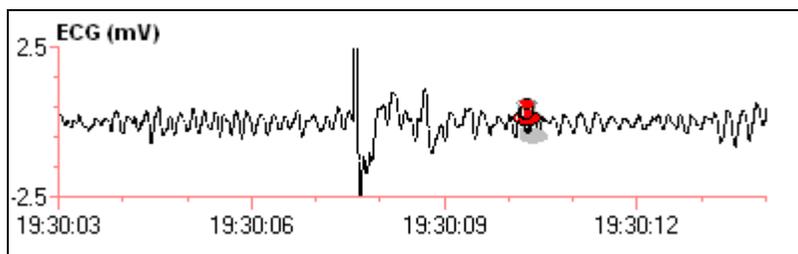


注釈を追加する

コンテキストメニューの注釈の追加を選択して、タイムラインに注釈イベントを挿入することができます。注釈を追加する詳しい方法は、[注釈を追加する](#)をご覧ください。

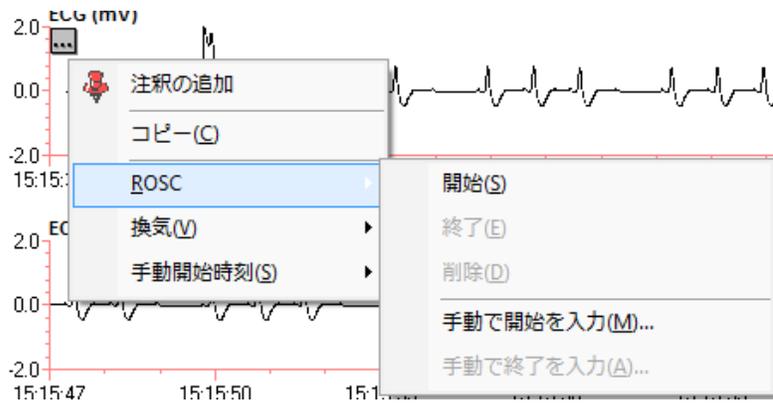


注釈を保存後、イベントには「押しピン」のアイコンが記されます。

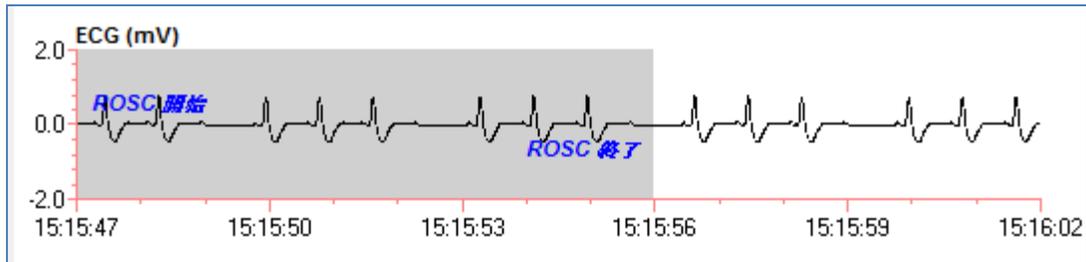


ROSC 期間を追加する

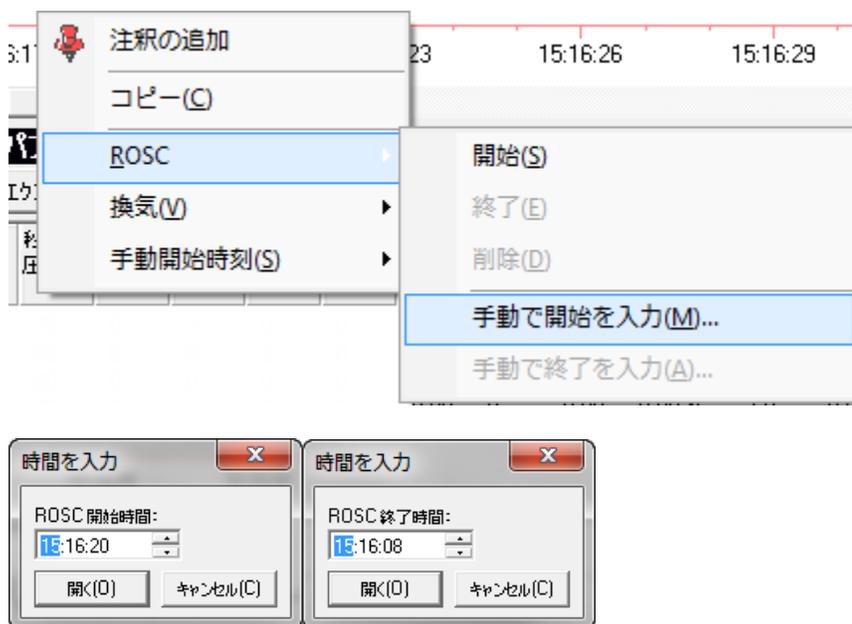
グラフのある時点で単に右クリックするか、正確には、特定の時刻を手入力する方法で、ROSC 境界線を引きます。



グラフのある時点で右クリックして ROSC 境界線を開始して ROSC 開始イベントを作成します。コンテキストメニューから *ROSC*、*開始*の順に選択します。次に、グラフのある時点で右クリックして ROSC 境界線を終了すると、ROSC 終了イベントが作成されます。コンテキストメニューの *ROSC*、*終了*を順に選択します。ROSC 期間は、以下のように網掛けされます。



また、グラフのどこかで右クリックしてから *ROSC* をクリックして、ROSC 開始及び ROSC 終了時間を手動で入力することができます。適宜、*手動で開始を入力...*又は*手動で終了を入力...*を選択します。



グラフに書き込んだ ROSC 期間内のどこかを右クリックして、ROSC、削除の順にクリックすると、ユーザーが作成した ROSC 期間をコンテキストメニューから削除することができます。

CPR パフォーマンスの要約データ

圧迫、換気、タイムラインの ROSC 期間に対して目的の編集を行った後、CPR パフォーマンスの要約表を使用して CPR データの分単位を解析します。

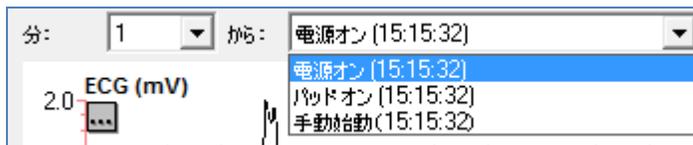
CPRパフォーマンスのサマリデータ														
エクスポート(E)...														
分	秒	胸骨 圧迫なし	換気	CO2換 気	換気リ ード	胸骨圧 迫回数	平均胸 骨圧迫 圧迫深	胸骨圧 迫速度	平均放 出速度	胸骨圧迫 分画	分	解析不 可能な 秒数	目標範囲内 の胸骨圧迫	平均 CO2
1	44	0	0	0	0	18	3.22	67	19...	28.07 %	3	38.89 %	0.00	
2	14	0	0	0	0	62	2.98	97	17...	73.08 %	0	93.55 %	0.00	

注: タブ最上部のドロップダウンから選択する場合と同様に、行をクリックして選択した分を表示します。

分:	開始時間からの経過分数
胸骨圧迫なしの秒数:	1 分間の圧迫なしの秒数
換気:	1 分間の換気数の手動記録
換気パッド:	パッドインピーダンスシグナルから検知した換気
CO2 換気:	CO2 モニタリングからレポートされた換気 (呼吸の検知)
換気リード:	リードインピーダンスシグナルから検知した呼吸
胸骨圧迫回数:	1 分間の圧迫回数
胸骨圧迫分画:	1 分間の圧迫の割合 (%)
解析不可能な秒数:	解析できなかった秒数
胸骨圧迫の平均深度:	1 分間の圧迫の平均深度
目標範囲内の胸骨圧迫:	目標指標範囲内に収まった圧迫の割合 (%)
平均 CO2:	呼吸 / 換気マーカー発生時の平均 EtCO2

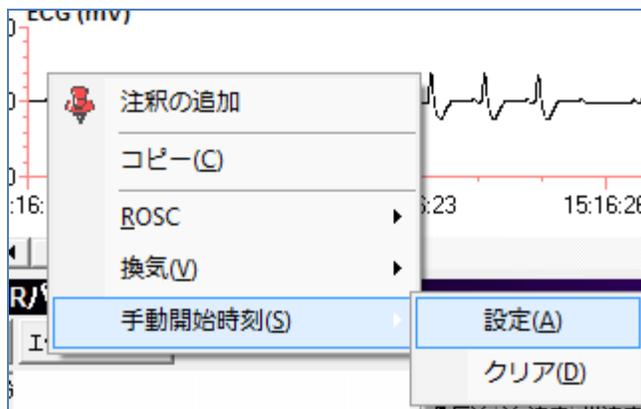
分単位解析の開始時間を選択する

分単位解析の開始時間を「電源オン」、「パッドオン」、又は「マニュアル設定」に設定するように選択することができます。開始時間の選択を変更すると、分単位の結果が再計算されます。ドロップダウンにある症例データから、パッドオン及び電源オンの時刻が自動計算で求められます。



マニュアル開始時間を作成する

マニュアル開始時間を設定するには、タイムラインを右クリックして、**マニュアル開始時間**、**設定の順**に選択します。開始時間リストにマニュアル開始の選択が上のように追加されます。



印刷

表示される「プリンター」アイコンを用いて CPR パフォーマンスの要約表を印刷することができます。

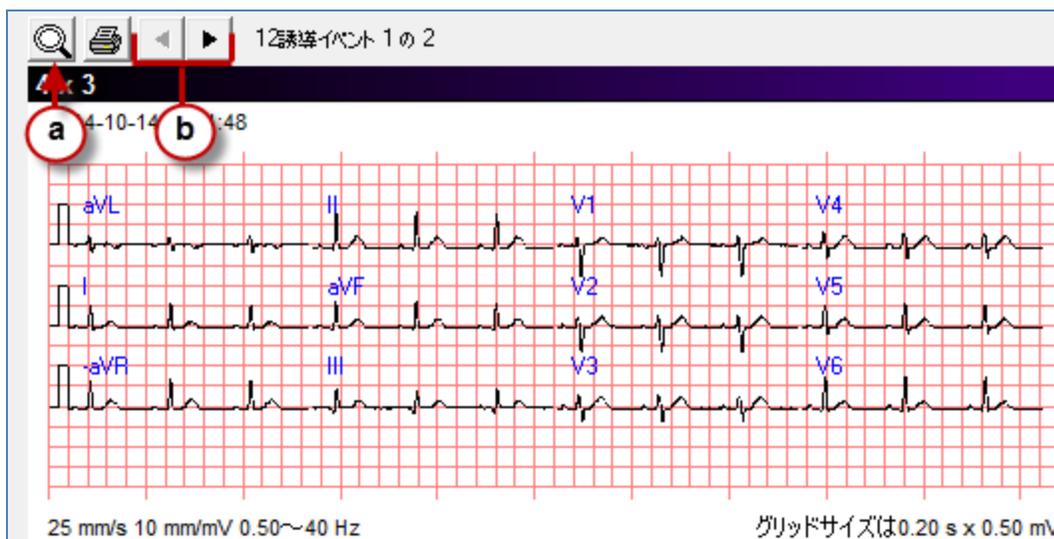
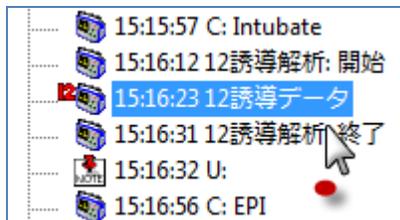
CPRパフォーマンスのサマリデータ						
分	秒	胸骨 圧迫なし	換気	CO2換 気	換気リ ード	胸 迫
1	75	0	3	0	0	0
2	60	0	0	2	0	0

エクスポート

CPR パフォーマンスの要約表から xml ファイルにデータをエクスポートすることができます。「エクスポート」ボタンをクリックしてから、ファイルの位置を選択します。

12 誘導

RescueNet Code Review (Enterprise Edition) では、12 誘導タブを利用することができます。



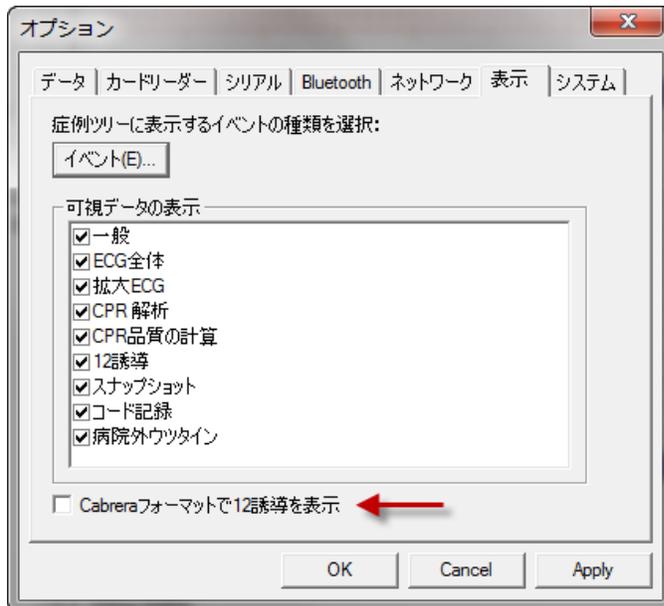
- ズームイン／アウト。
- 現在選択している症例の前の／次の 12 誘導イベントを表示します。

測定値																
	PA	PPA	QA	QD	RA	RD	SA	SD	RPA	RPD	SPA	STJ	STM	STE	TA	TPA
V1	34	-48	0	0	24	17	1098	129	0	0	0	4	102	268	278	0
V2	48	-34	0	0	53	24	1020	122	0	0	0	4	83	239	249	0
V3	78	0	0	0	112	28	634	118	0	0	0	-10	9	141	161	0
V4	92	0	0	0	141	30	449	86	43	30	0	-5	9	92	112	0
V5	97	0	0	0	156	37	78	27	234	82	0	-5	-69	-30	0	0
V6	97	0	0	0	532	146	0	0	0	0	0	0	-88	-137	-136	0
I	170	0	0	0	1328	127	0	0	0	0	0	-152	-381	-308	-307	0
aVL	136	0	0	0	1010	131	0	0	0	0	0	-54	-206	-196	-195	0
II	87	0	0	0	839	111	0	0	0	0	0	-196	-347	-220	-219	0
aVF	-29	24	0	0	292	69	214	77	0	0	0	-118	-157	-69	-68	0
III	-102	0	747	146	0	0	0	0	0	0	0	-44	34	87	92	0
aVR	-122	0	1059	125	0	0	0	0	0	0	0	170	361	263	263	0

解釈	
心拍数: 72	QRS幅: 98 ms
	QT/QTc: 372/408 ms
PR間隔: 150 ms	P-R-T軸: 72 51 64
Normal finding for 40+ male Sinus rhythm	

Cabrera 式

12 誘導タブで、4×3 の 12 誘導の表示を Cabrera 式に変更する場合は、ツール>オプション>表示の順に進んでから、「Cabrera 12 式で誘導を表示する」を選択します。

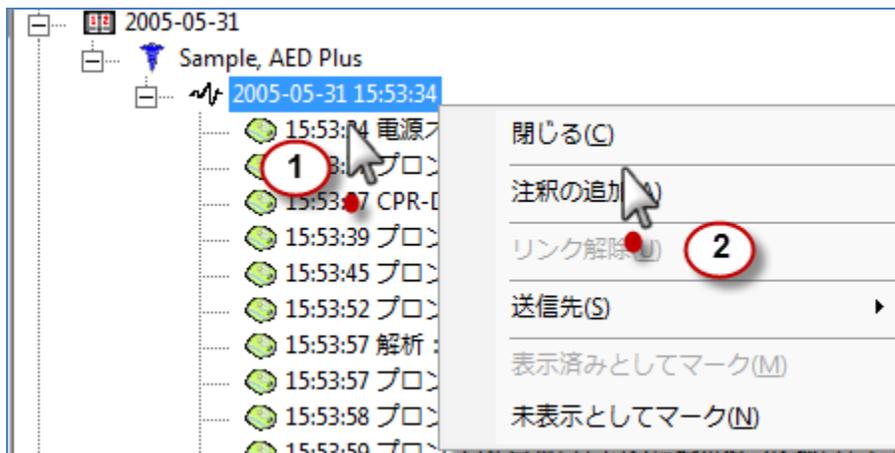


注: この設定は、X Series に限ります。E 又は M Series で標準的な形式で 12 誘導を記録した場合には、12 誘導タブにも標準的な形式で表示されます。

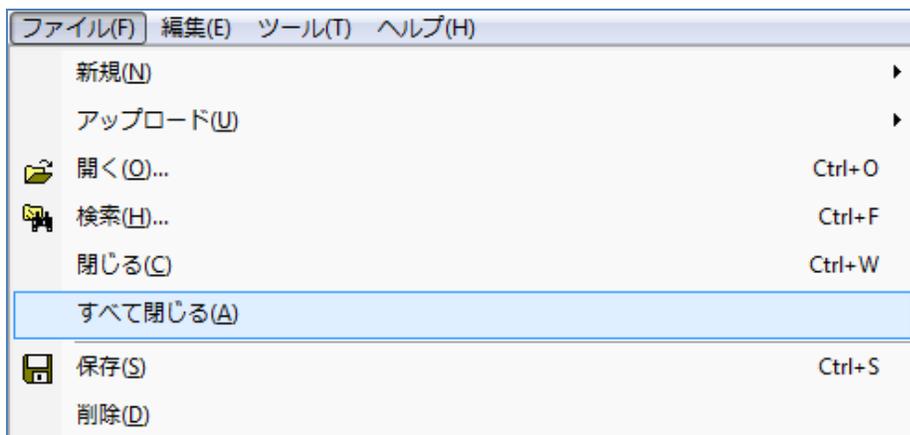
症例を終了する

RescueNet Code Review 終了すると、症例は自動的に終了します。

開いている症例は、手動で終了することができます。

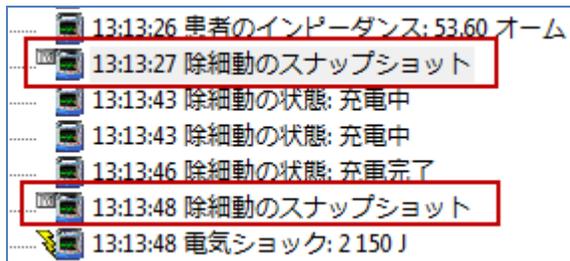


また、開いているすべての症例を手動で終了することもできます。



スナップショット

RescueNet Code Review (Enterprise Edition)では、スナップショットタブを利用することができます。このタブには、X Series で記録したスナップショットが表示されます。



表示されるボタンを用いて、スナップショットを印刷し、ズームイン／アウトし、前の／次のスナップショットを表示します。

4章 症例を文書化する

情報の確認と追加

コード情報を確認し、変更する場合は、症例をダウンロードするか、開きます。ダウンロード済みの症例を素早く検索するには、日付の範囲と、状況に応じて他の検索パラメータも組み合わせます。

変更を保存する



保存されていない変更があると、「保存」ボタンが常に有効表示されます。

- いつでも「保存」ボタンをクリックして、変更を手動で保存することができます。
- 変更が保存されていない症例を終了しようとすると、保存を確認するメッセージが表示されます。

注: 別の症例の表示に移動すると、最初の症例の保存されていない変更内容は保護されますが、保存はされません。最初の症例に戻ると、変更内容は保持されています。ただし、保存しないまま症例を終了すると、変更内容は失われます。

注釈を追加する



1. 拡大 ECG 上で、注釈を追加したい時刻を右クリックします。

The screenshot displays the ZOLL software interface with the following elements:

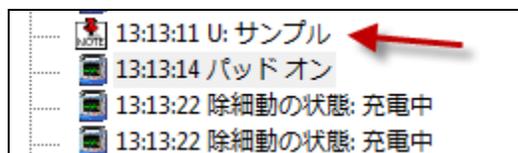
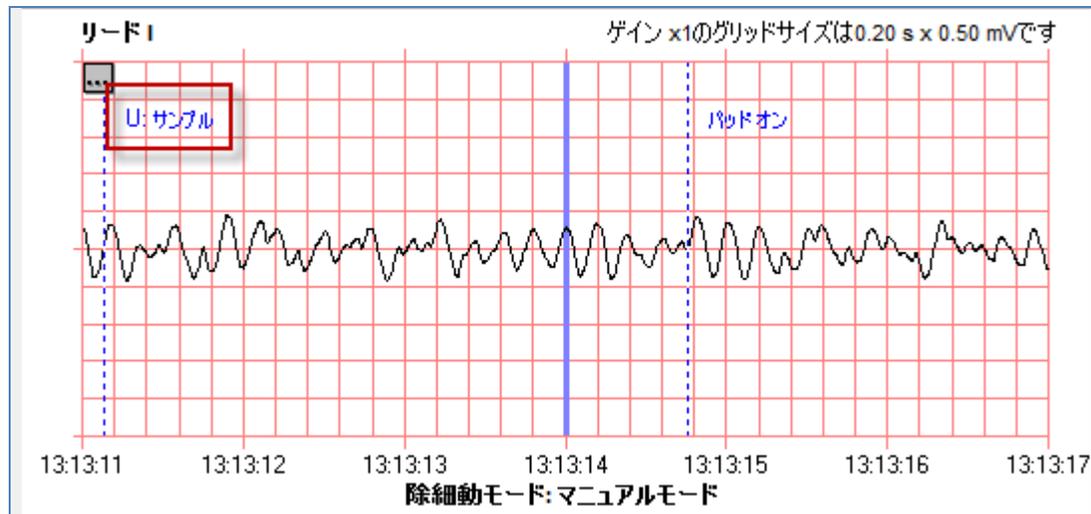
- Navigation tabs: 1 - 一般, 2 - ECG全体, 3 - 拡大ECG, 4 - CPR解析, 5 - CPR品質の計算, 6 - 12誘導, 7 - スナップショット
- Status bar: 30秒間隔で数値が更新されます。
- Table of vital signs:

		Sp	ECG x1	276
		%	SpMet	
			SpCO	
T	T1	---		
°F	T2	---		
	ΔT	---		
- ECG Trace: リード I, ゲイン x1のグリッドサイズは0.20 s x 0.50 mVです
- Context Menu (opened at time 13:13:28):
 - 注釈の追加 (with pushpin icon)
 - ECG全体のエクスポート...
 - セグメントのコピー(C)
 - セグメントの選択(S)
 - CPR期間
 - CPR期間の表示(H)

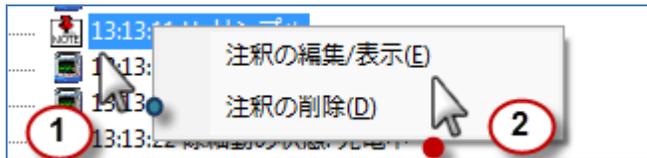
2. タイトルと追加するメモを追加します。



3. ECGと症例ツリーに注釈のタイトルが表示されます。



4. 注釈を編集、表示、削除するには、



コード記録

RescueNet Code Review (Enterprise Edition)では、「コード記録」タブを利用することができます。

1 - 一般	2 - ECG全体	3 - 拡大ECG	4 - CPR解析	5 - CPR品質の計算	6 - 12誘導	7 - スナップショット	8 - コード記録
--------	-----------	-----------	-----------	--------------	----------	--------------	-----------

応答者と搬送

応答者

搬送車:

搬送車の種類:

救急隊のリーダー:

搬送

搬送車:

救急隊のリーダー:

受入れ病院:

責任医師:

コメント:

イベント	
時刻	
覚知:	<input type="checkbox"/> 2014-10-14 13:10:16 <input type="checkbox"/> 不明
出勤:	<input type="checkbox"/> 2014-10-14 13:10:16 <input type="checkbox"/> 不明
現着:	<input type="checkbox"/> 2014-10-14 13:10:16 <input type="checkbox"/> 不明
患者のそば:	<input type="checkbox"/> 2014-10-14 13:10:16 <input type="checkbox"/> 不明
虚脱	
救急車到着前に発生:	<input type="text"/>
位置:	<input type="text"/>
現場での初期状態:	
意識不明:	<input type="text"/>
呼吸停止:	<input type="text"/>
脈拍なし:	<input type="text"/>
現場でのEMS治療	
除細動:	<input type="text" value="はい"/>
電気ショック回数:	<input type="text" value="2"/>
蘇生が行われた回数:	<input type="text"/>
継続的な心肺蘇生:	<input type="text"/>
ResQPODを追加した:	<input type="text"/>
AutoPulseを使用した:	<input type="text"/>
転帰	
退院時	
生存:	<input type="text"/>
全身機能カテゴリ番号:	<input type="text"/>
脳機能カテゴリ番号:	<input type="text"/>
退院後1年	
生存:	<input type="text"/>
全身機能カテゴリ番号:	<input type="text"/>
脳機能カテゴリ番号:	<input type="text"/>
死亡時刻:	<input type="checkbox"/> 2014-10-14 <input type="checkbox"/> 不明
	<input type="checkbox"/> 13:10:16 <input type="checkbox"/> 不明

病院外ウツタイン

RescueNet Code Review (Enterprise Edition)では、「病院外ウツタイン」タブを利用することができます。

正確なウツタインレポートは、データの完成度に応じて変わります。症例の病院外ウツタインデータの捕捉を開始すると、そのフィールドラベルが必須項目であることを示す**赤いハイライト**で表示されます。症例の病院外ウツタインデータが完成しない間、タブのタイトルは**赤く**表示されます。(心停止確定症例だけが「完成」と判定されます。)

1 - 一般	2 - ECG全体	3 - 拡大ECG	4 - CPR解析	5 - CPR品質の計算	6 - 12誘導	7 - スナップショット	8 - コード記録	9 - 病院外ウツタイン
ウツタイン情報								
確認された心停止:	蘇生が行われた							
病因:								
目標:								
初期調律:								
バイスタンダー-CPR:								
心拍再開:								
入院:								
退院:								
1年時の患者の状態:								

病院外ウツタインデータをすべて捕捉すると、タブのタイトルとすべてのラベルが黒くなります。

1 - 一般	2 - ECG全体	3 - 拡大ECG	4 - CPR解析	5 - CPR品質の計算	6 - 12誘導	7 - スナップショット	8 - コード記録	9 - 病院外ウツタイン
ウツタイン情報								
確認された心停止:	蘇生が行われた							
病因:	心疾患							
目標:	目標なし							
初期調律:	心静止							
バイスタンダー-CPR:	あり							
心拍再開:	心拍再開							
入院:	入院							
退院:	生存退院							
1年時の患者の状態:	一年以内の死亡							

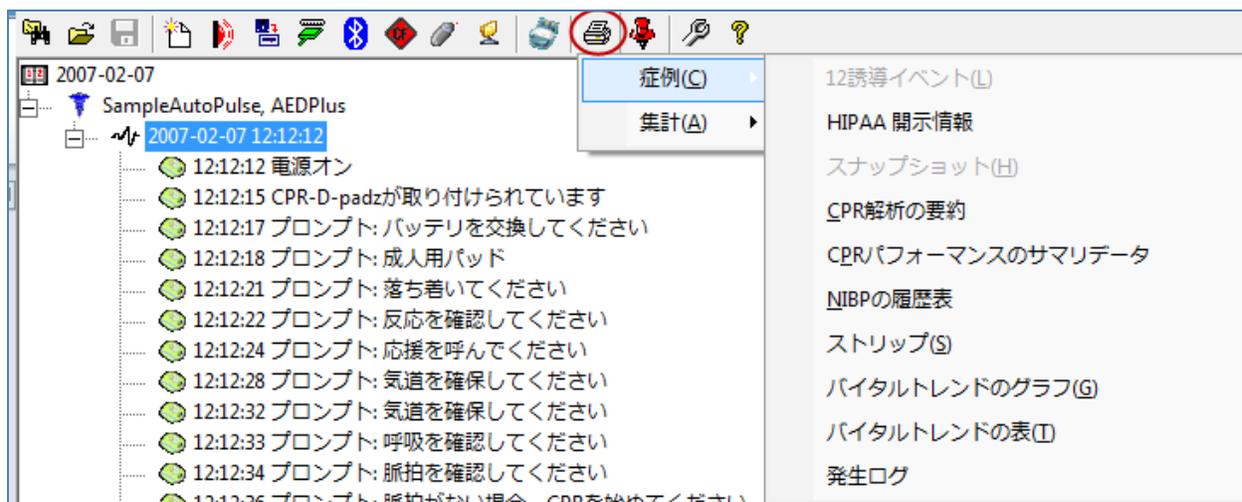
注: 病院外ウツタインデータが不完全な症例も保存することができます(その場合は、データが不完全であることを告げるメッセージが表示されます)。ウツタインデータが不完全な症例についても正確なレポートを確実に得られるようにするため、ウツタインレポートに含める症例を検索するときに、ウツタインデータが完全な症例のみを含めるように検索基準を設定します。

The screenshot shows a search window titled '検索' (Search) with the following fields and options:

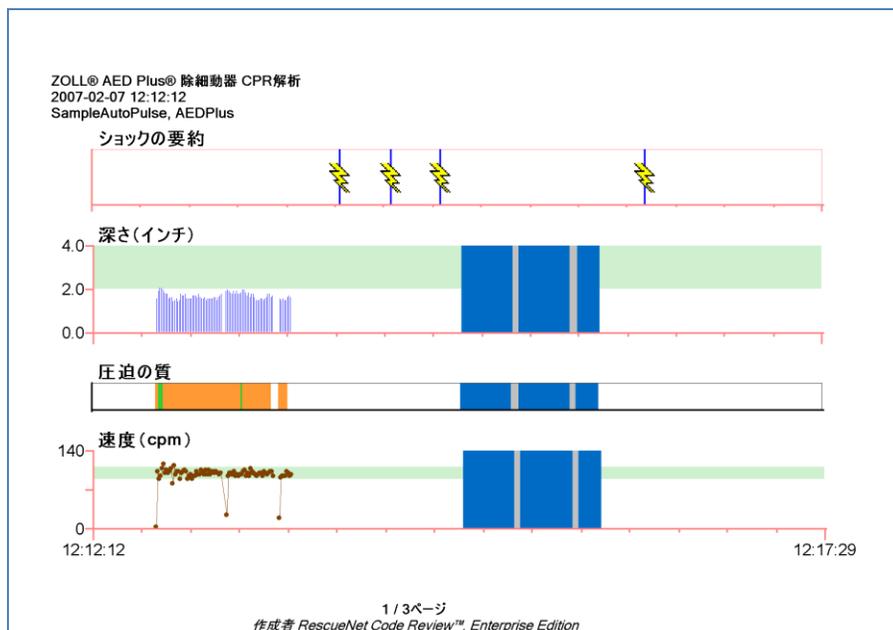
- 検索フォルダ: C:\ZOLL\ZDD\data\
- サブフォルダも検索(U):
- この日付範囲で検索(R): 8/ 3/2014 ~ 10/15/2014
- これらの特定イベントを検索(V): イベント(E)...
- 表示されているステータスを検索(I): 未表示
- このテキストを検索(T):
- これらのフィールドには:
 - 患者名
 - 実施回数
 - 患者ID / MR番号
 - すべてのフィールド
- カスタムクエリ(Q): ウツタインデータ [不完全]

5章 レポート

症例レポート



CPR 解析の要約レポート



ZOLL® AED Plus® 除細動器 CPR解析
 2007-02-07 12:12:12
 SampleAutoPulse, AEDPlus

キー表示

	マニュアル	AutoPulse
最初の圧迫までの平均時間:	00:00:27	00:02:38
圧迫を中止してから電気ショックを与えるまでの平均時間:	00:00:00	00:00:20
電気ショックを与えてから圧迫を開始するまでの平均時間:	00:00:00	00:00:08
圧迫の深さの平均:	1.70 インチ	
圧迫速度の平均:	96.06 cpm	

症例全体

	マニュアル	AutoPulse
症例の期間:	00:04:22	
CPRの時間:	00:05:17 (100.00 %)	
CPR以外の時間:	00:00:00 (0.00 %)	

CPR期間

	マニュアル	AutoPulse
圧迫の時間:	00:00:56 (17.67 %)	00:00:55 (17.35 %)
圧迫以外の時間:	00:04:21 (82.33 %)	00:04:22 (82.65 %)
目標範囲内の圧迫:	5.56 %	

深度(目標ゾーン2 ~ 4 インチ):

標準偏差:	0.15 インチ
目標ゾーン超過:	0 (0.00 %)
目標ゾーン内:	5 (5.56 %)
目標ゾーン未満:	85 (94.44 %)

速度(目標ゾーン90 ~ 110 CPM):

標準偏差:	15.94 cpm
目標ゾーン超過:	2 (2.22 %)
目標ゾーン内:	81 (90.00 %)
目標ゾーン未満:	7 (7.78 %)

各電気ショックの時間:

2 / 3ページ
 作成者 RescueNet Code Review™, Enterprise Edition

インシデント記録

ZOLL ZOLL® AED Plus® 除細動器 インシデント記録

2005-05-31 15:53:34

患者: Sample, AED Plus

MR番号:

実施回数:

報告日: 2015-01-08 04:01:10

作成者 RescueNet Code Review™, Enterprise Edition

患者

患者ID/MR番号:

姓: Sample

名: AED Plus

ミドルネームのイニシャル:

一般:

性別:

人種:

生年月日: 未記録

身長: 未記録

体重: 未記録

症例

日付: 2005-05-31

開始時刻: 15:53:34

終了時刻: 16:03:27

期間: 9:53

実施回数:

デバイスの種類: ZOLL® AED Plus® 除細動器

シリアル番号: 0000000000

デバイスID:

ソフトウェアバージョン: 5.10

操作者:

電気ショック実行回数: 3

イベントの要約

15:53:34 電源オン

15:54:27 プロンプト: 点滅している治療ボタンを押してください

15:54:29 電気ショック: 2 150 J

15:54:29 患者イビードダンス: 123.00 オーム

お知らせしています

ください。解析しています

ください。解析しています

す

ください

ボタンを押してください

ください

ボタンを押してください

0 オーム

ください。解析しています

ください。解析しています

す

ください

を接続してください

を接続してください

を接続してください

を接続してください

保ってください

認ってください

認ってください

い場合、CPRを始めてください

い場合、

けてください

い場合、

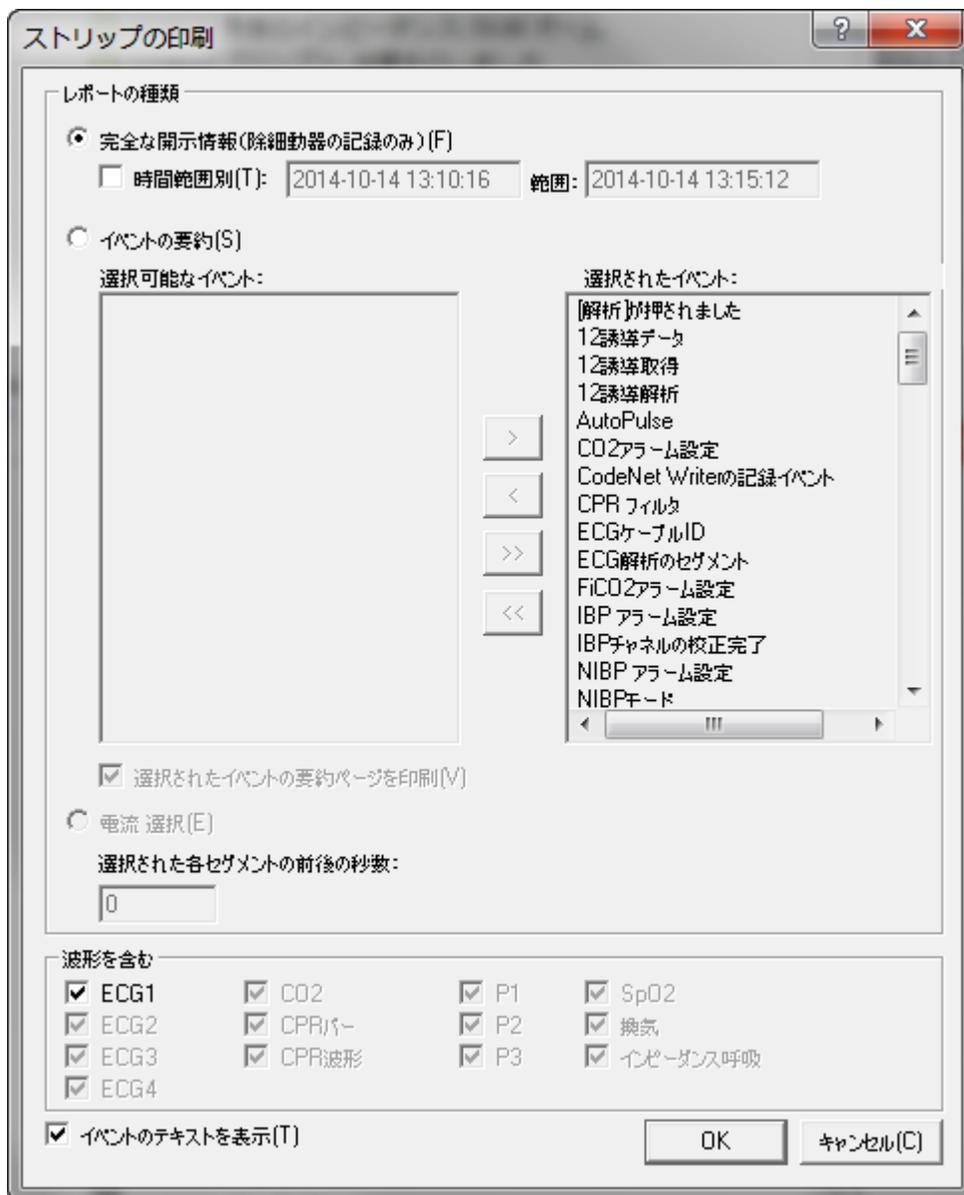
けてください

医師の署名 _____

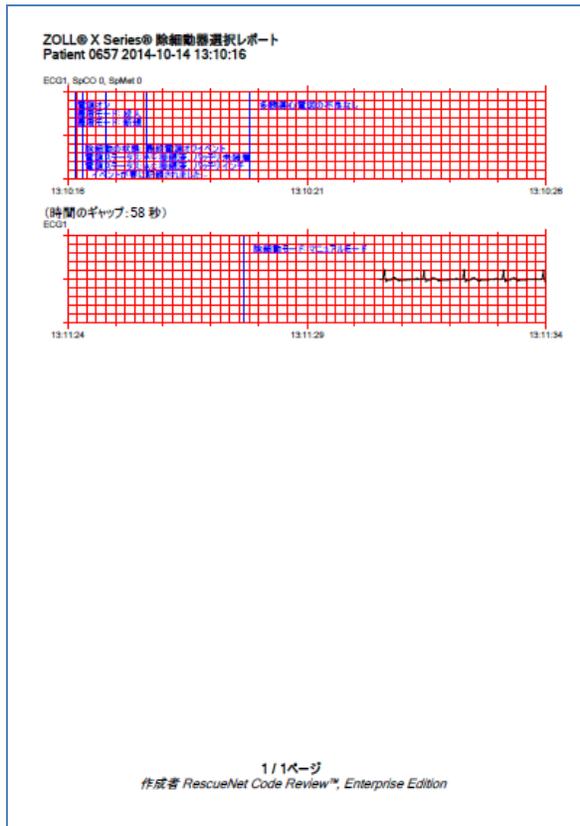
活字体氏名 _____

ストリップ

ストリップには、完全な開示情報(症例全体又は特定の時間範囲が対象)やイベントの要約レポート(すべてのイベント又は選択されたイベントが対象)を印刷することができます。

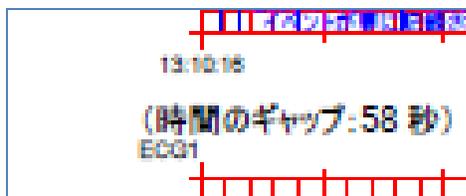


イベントの要約レポートには、選択されたイベントが発生する前後 15 秒間程度の記録が表示されます。



選択されたイベントについて無活動を示す空白がある場合には、時間の空白の通知が表示されます。

Prepared by RescueNet Code Review, Enterprise Edition (TM)



注: RescueNet Code Review (Enterprise Edition)には、以下のような症例レポートもあります。

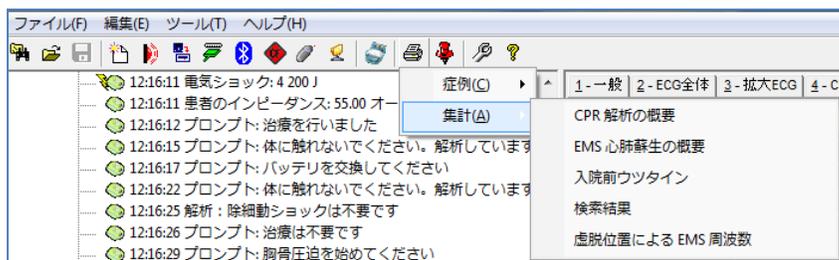
- 12 誘導イベント
- NIBP の履歴表
- バイタルトレンドの表

- バイタルトレンドのグラフ

集計レポート

RescueNet Code Review (Enterprise Edition)では、集計レポートを利用することができます。

1. 「集計」を選択して、レポートを印刷します。



2. 「レポートに含めるファイルを検索」ダイアログボックスが自動的に開きます。基準の組み合わせ(a)を選択してから、検索(b)をクリックします。

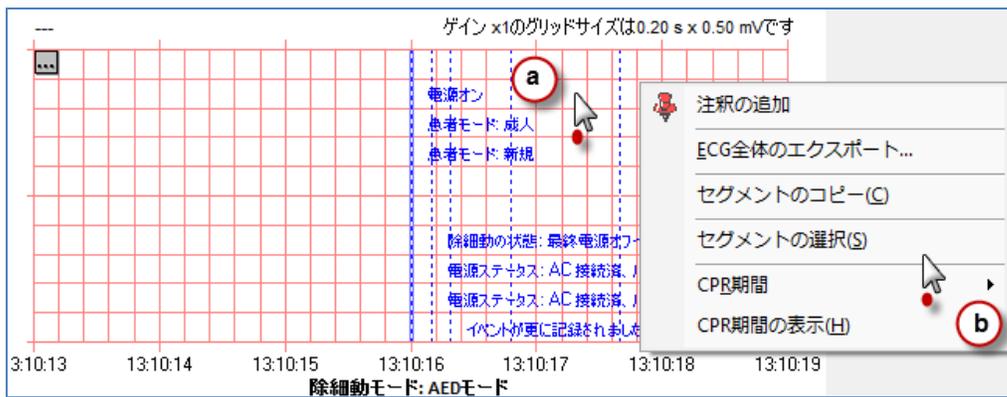


3. 設定した基準に一致する症例が表示されます。レポートに含めたい症例を選択して(c)、「レポートの実行」をクリックします(d)。

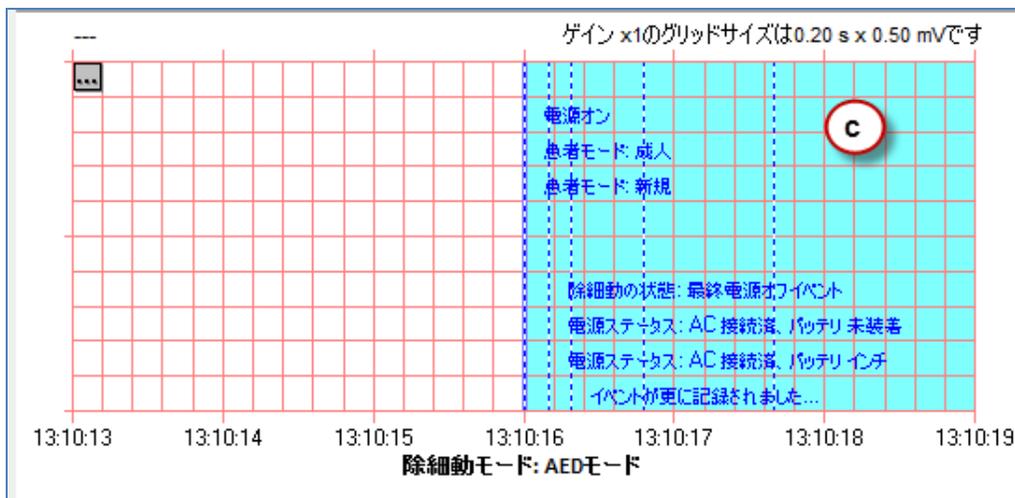
4. ブラウザウィンドウにレポートが表示されます。

ECG セグメントを印刷する

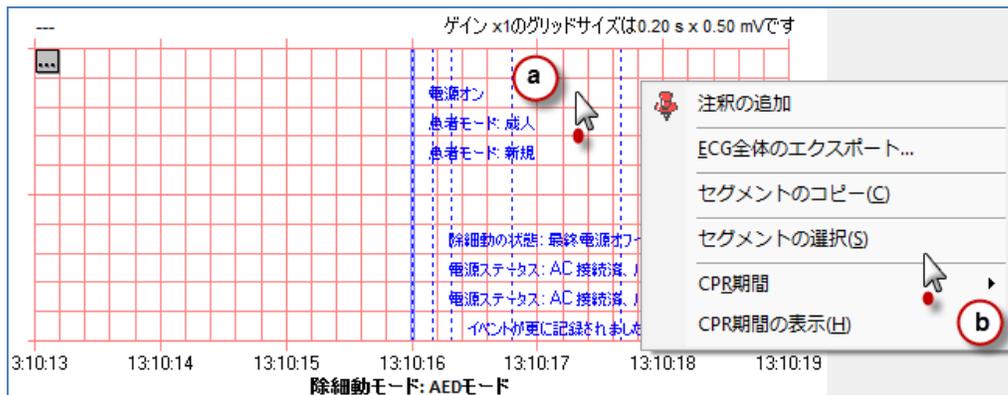
1. 右クリックして、印刷したいセグメントを選択します。



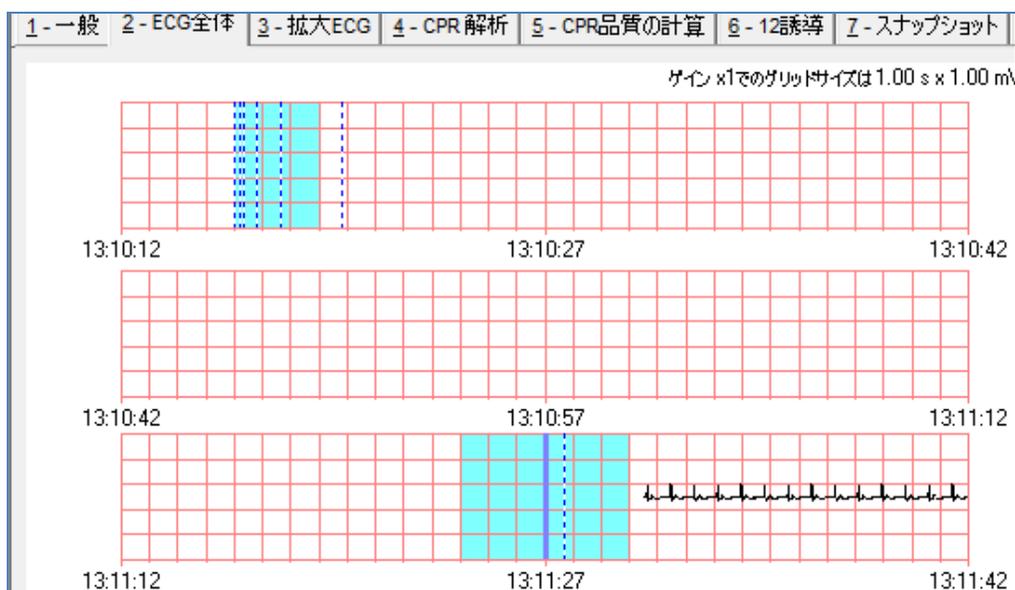
2. 選択したセグメントがハイライト表示されます。



3. オプションで、ECG 上の別のセグメントを選択することができます。



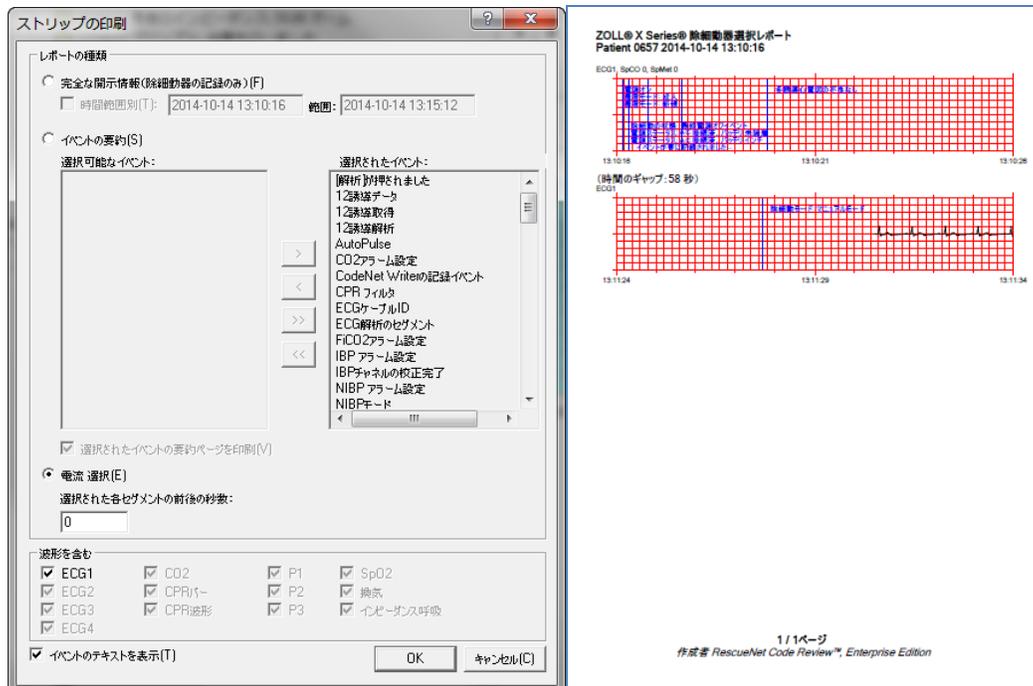
4. 「ECG 全体」タブ上の選択したすべてのセグメントを表示することができます。



5. 選択したすべてのセグメントを印刷するには、



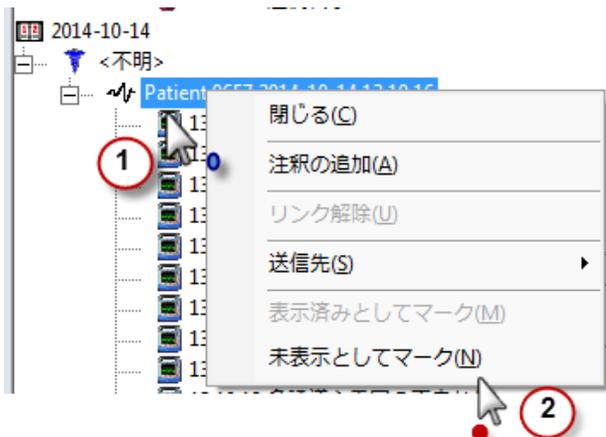
6. 現在の選択オプションを選択します。



6章 高度な操作

症例に「表示済み／未表示」のマークを付ける

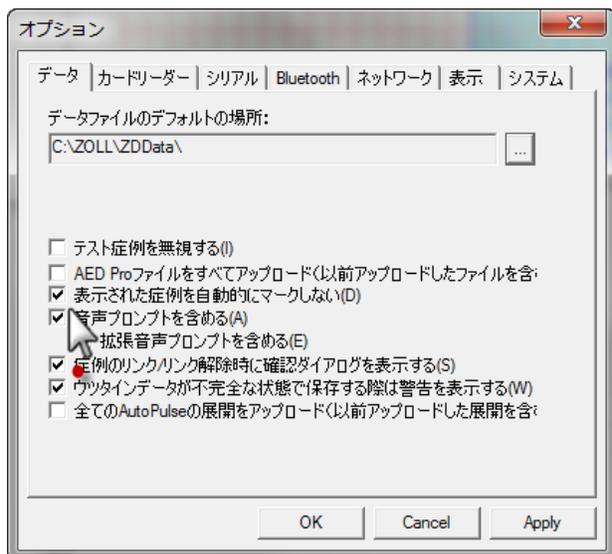
状態を手動で操作するには、



状態を手動で「未表示」に一旦変更すると、次の状態になるまでその状態は保持されます。

- 「表示済み」に手動で変更するまで。
- 終了してから、再度開くまで。
- 他の症例を表示してから、手動で変更した症例の表示に戻るまで。

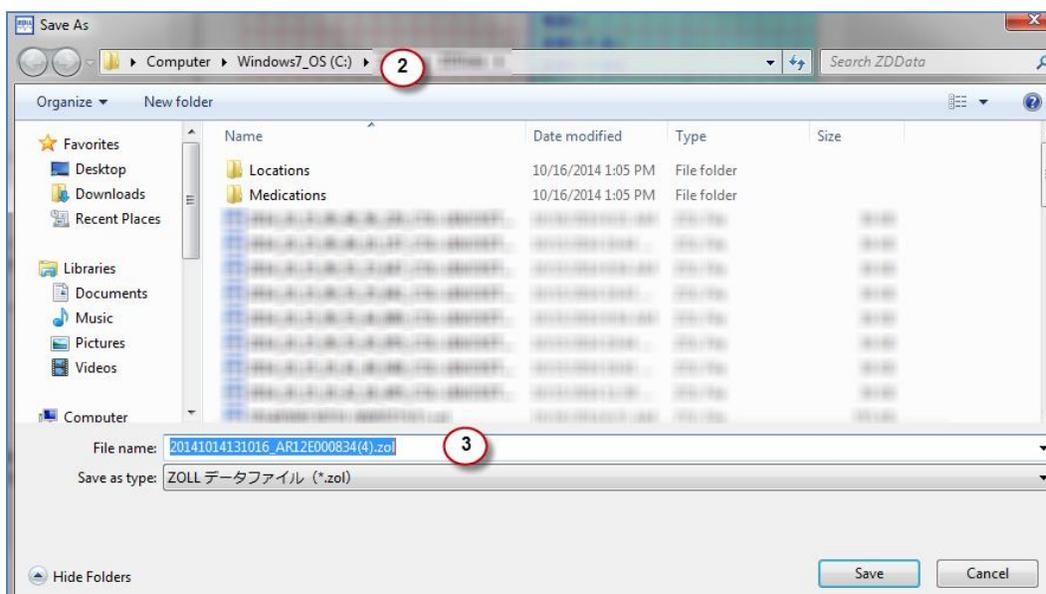
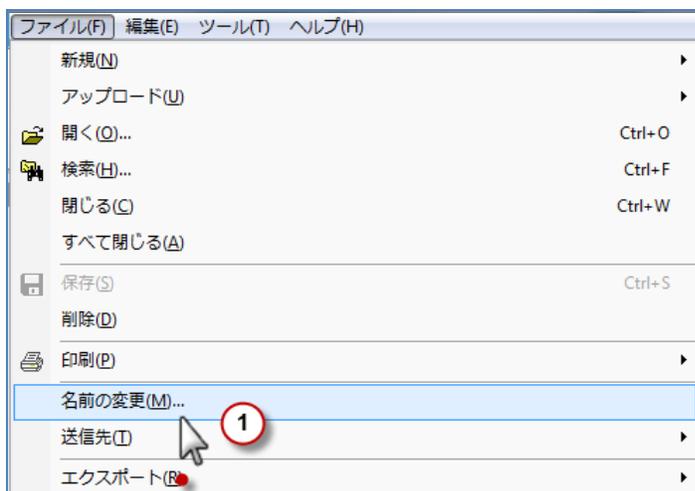
また、状態の変更を手動操作に強制することもできます。



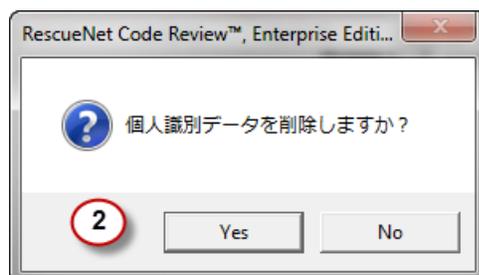
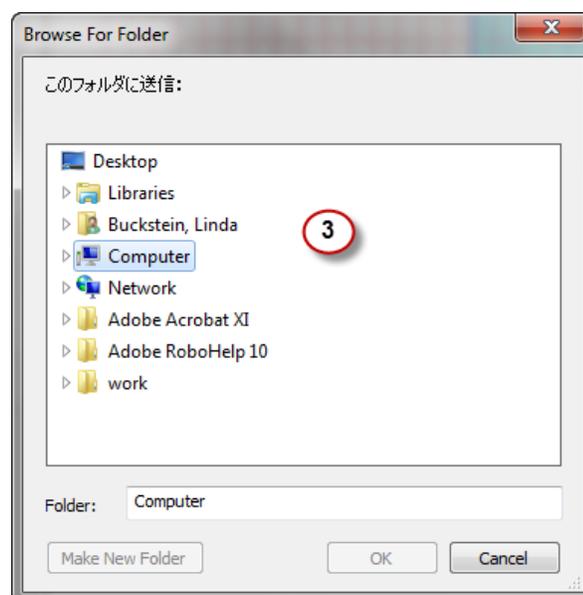
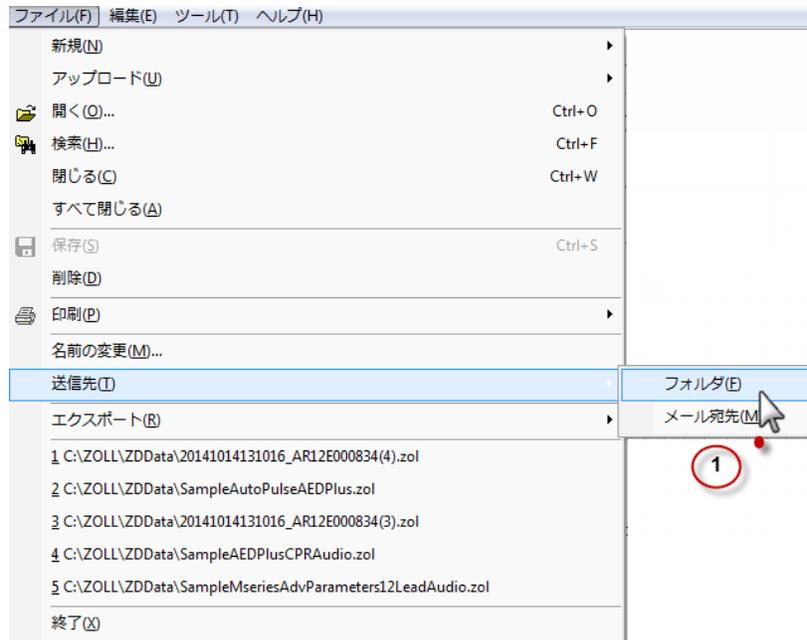
症例名を変更する

症例は、「.zol」ファイル形式で保存されます。初期設定では、症例が作成されたときの除細動器の日付と時刻と、20060328132727_0000017.zol 等の除細動器のシリアルナンバーが利用できる場合は、その組み合わせでファイル名が付けられます。

症例ファイルを変更し、他の場所に変更したファイルを保存することもできます。

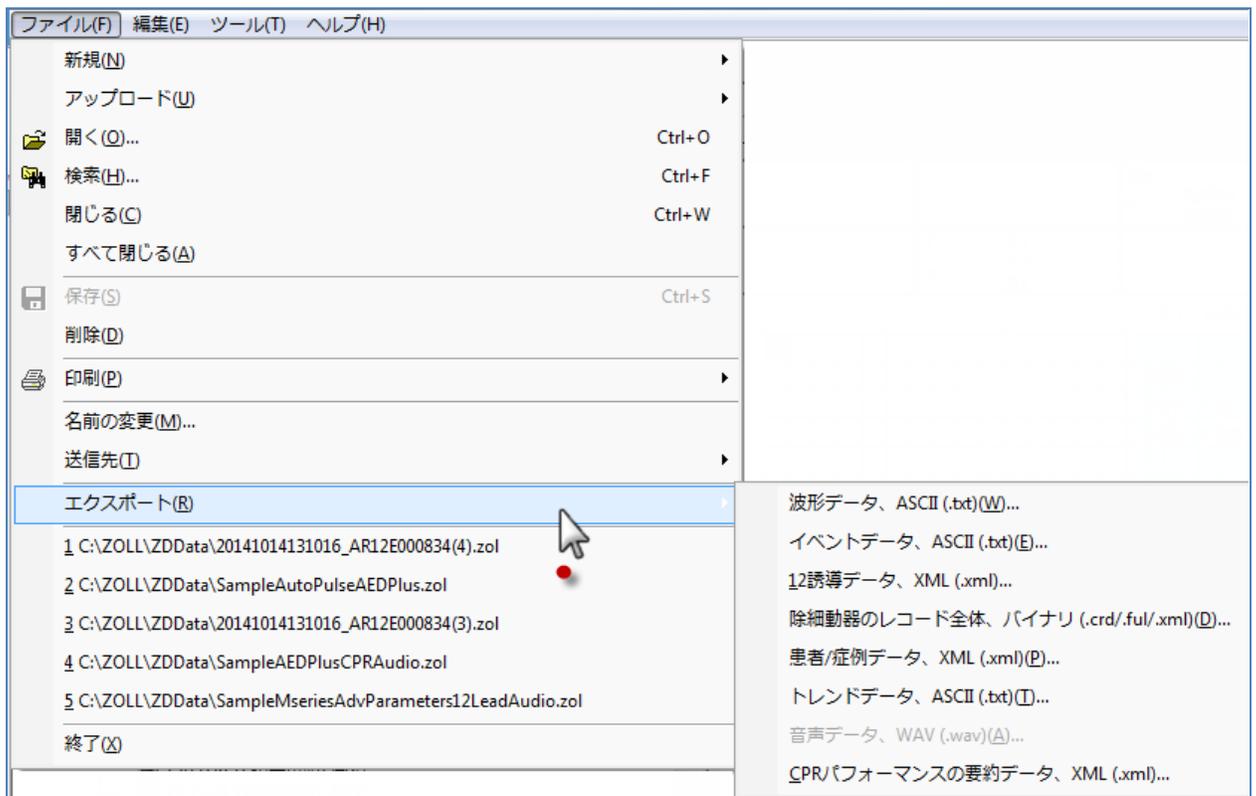


フォルダ又はEメールの宛先に症例のコピーを送信する



データのエクスポート

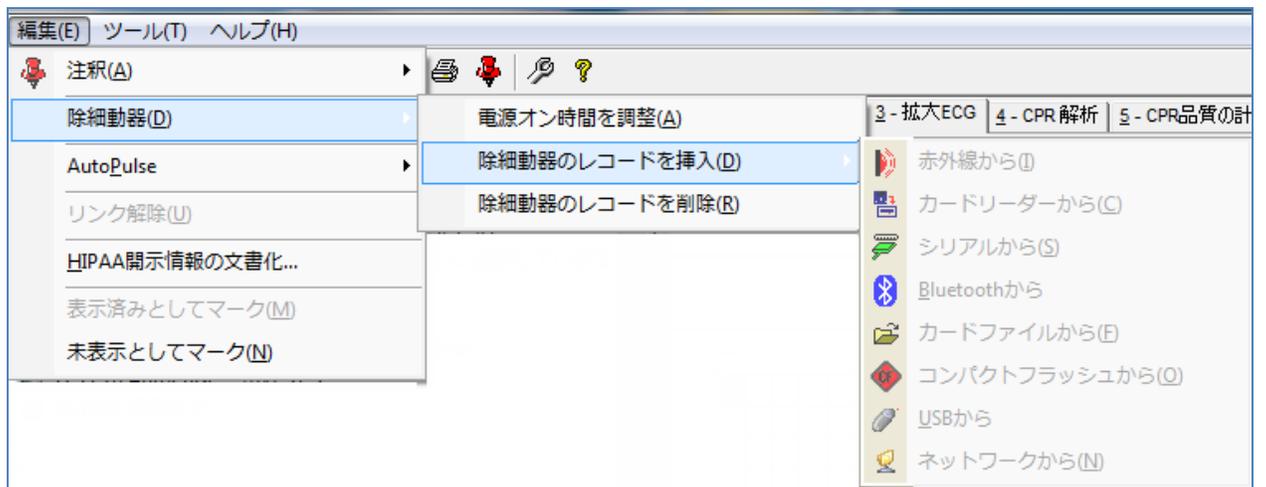
1. エクスポートしたい症例を開きます。
2. エクスポートの種類を選択します。



除細動器記録を症例に挿入する

除細動器記録がない症例には、記録を挿入することができます。

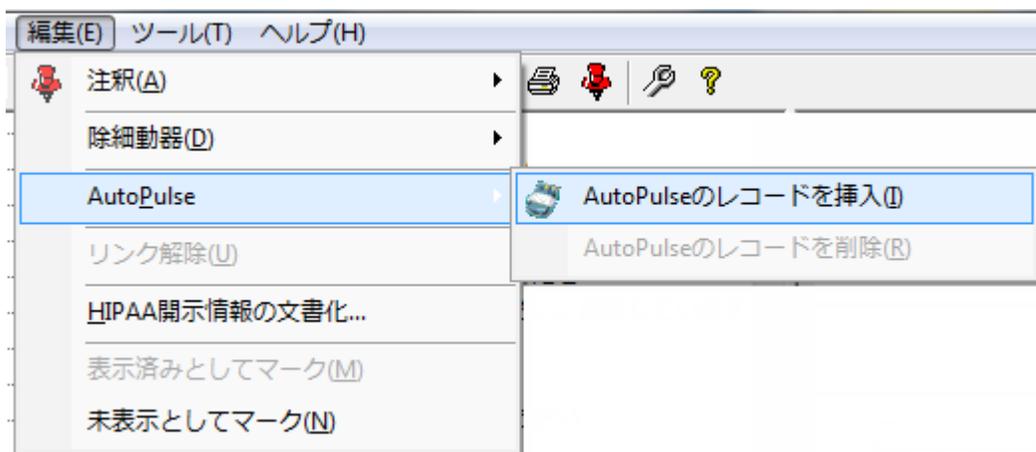
1. 症例を開きます。
2. 除細動器記録の入手先を選択します。



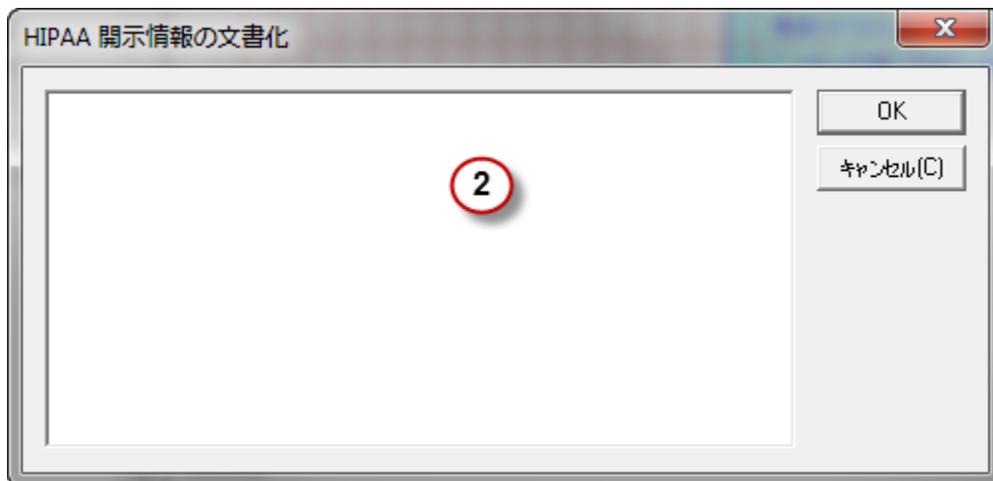
AutoPulse 記録を症例に挿入する

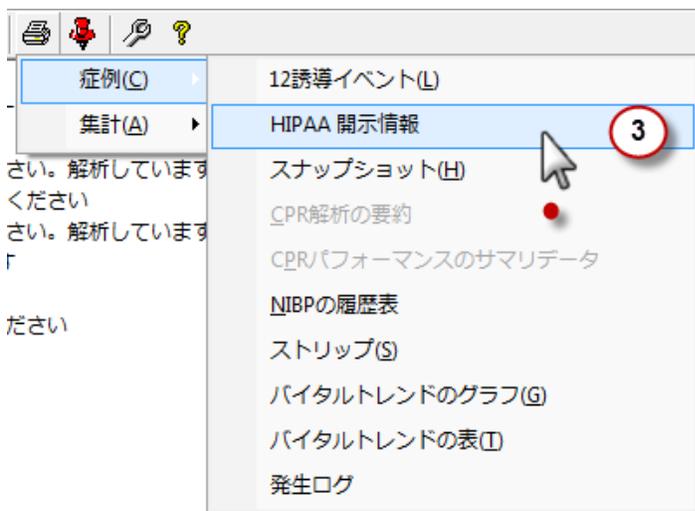
AutoPulse 記録がない症例には、記録を挿入することができます。

1. 症例を開きます。
2. 「AutoPulse 記録を挿入」を選択して、AutoPulse をアップロードモードにします。



HIPAA 開示情報の文書化

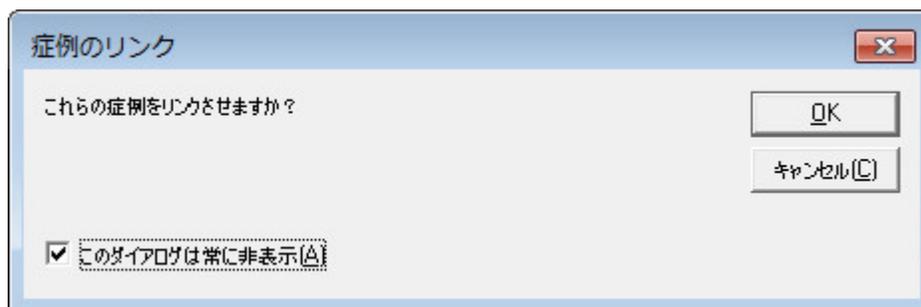
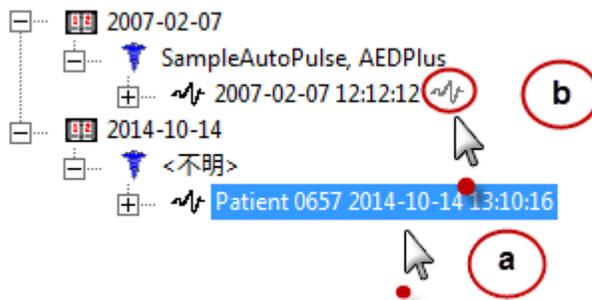




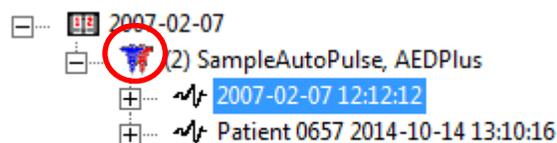
HIPAA開示情報		
2005-05-31 15:53:34		
実施回数:		
報告日: 2015-01-08 03:48:22		
作成者 RescueNet Code Review™, Enterprise Edition		
<hr/>		
患者		
Sample, AED Plus		
MR番号:		
性別:		
人種:		
生年月日: 未記録		
身長: 未記録		
体重: 未記録		
HIPAA開示情報メモ		
時刻	ユーザー	詳細
2005-05-31 17:10:57	gerbs	ユーザーが開覧した症例。
2005-06-01 08:32:09	gerbs	ユーザーが開覧した症例。
2005-06-01 08:55:06	gerbs	ユーザーが開覧した症例。
2005-06-01 10:16:20 179	NEisan	ユーザーが開覧した症例。
2005-08-16 11:44:05 866	NEisan	ユーザーが開覧した症例。
2006-03-31 14:23:46 974	NEisan	ユーザーが開覧した症例。
2006-04-07 16:07:58 806	NEisan	ユーザーが開覧した症例。
2006-04-07	NEisan	ユーザーが開覧した症例。

症例のリンクを設定する

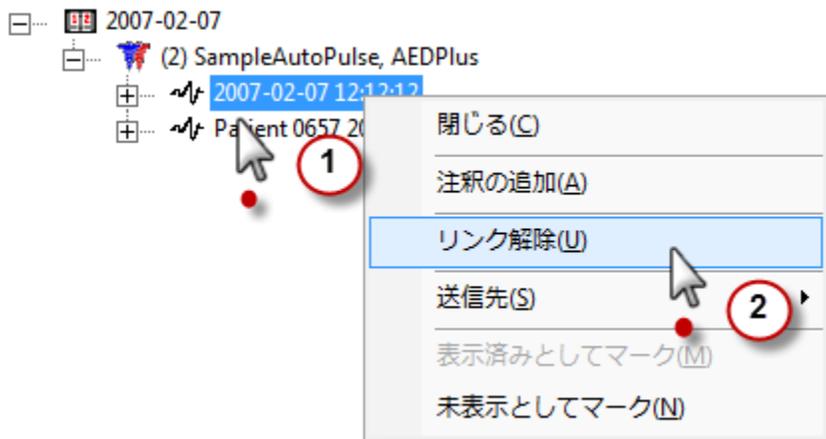
1. リンクを設定したい症例(a)をリンク対象の症例までドラッグします。ドラッグすると同時に、明るい症例記号が表示されます(b)。



2. リンクされている症例は、二重の(カドゥケウス)記号で表示され、その後ろにその症例番号が括弧内に表示されます。



リンクされている症例のリンクを外すには、



症例の時刻と同期

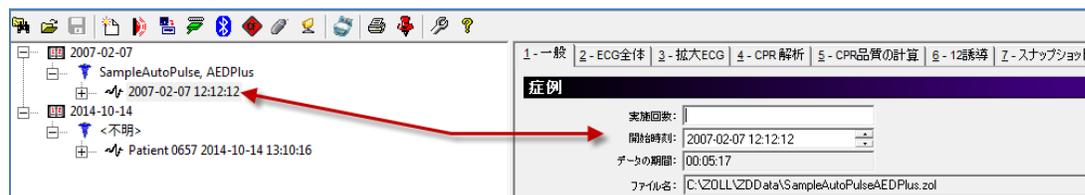
除細動器のイベント時刻は、可能な限り常に RescueNet Code Review ワークステーションの時計に自動的に同期されます。また、症例の開始時間と除細動器の時刻を手動で調整することもできます。こうすることで、RescueNet Code Review に表示される症例の時刻を一定に保つことができます。

注: 現在の時刻を正確にするため、RescueNet Code Review ワークステーションを正確な時計と同期させます。

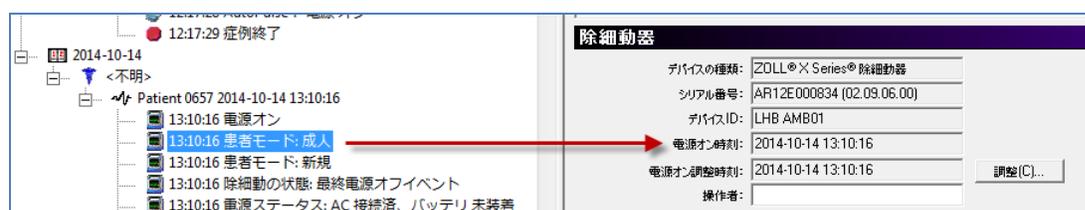
症例開始時間、除細動器の電源オン時刻、調整後電源オン時刻という重要な 3 つの時刻があります。

症例開始時間

症例開始時間とは、症例が実際に開始した時刻であり、除細動器の電源オン時刻やそれよりも早い除細動器とは関係のないイベントと一致することもあります。



除細動器の電源オン時刻及び調整後電源オン時刻



最初の除細動器イベントに相当する読み取り専用の除細動器の電源オン時刻は、除細動器時計に基づくものです。RescueNet Code Review ワークステーションの時計に可能な限り同期します。(表示オプションに応じて、症例ツリーに電源オン時刻が表示されないこともありますが、「一般」タブには表示されます。)

RescueNet Code Review に表示される除細動器イベントの時刻はすべて、調整後電源オン時刻に基づくものです。最初に述べたとおり、通常これは除細動器の電源オン時刻と同じです。表示される除細動器イベント時刻は、手動で調整して操作することができます。

症例開始時間と調整後電源オン時刻の関係

- 症例開始時間は、必ず調整後電源オン時刻と同じかそれよりも早い時間に設定してください。
- 症例開始時間を調整後電源オン時刻よりも早い時刻に手動で調整することができます。
- 電源オン時刻を手動で現在の症例開始時間よりも早い時刻に調整する場合は、症例開始時間は、新しい調整後電源オン時刻と同じになるように自動的に調整されます。
- 現在の症例開始時間より前に発生したイベントを追加する場合は、症例開始時間は追加したイベントの時刻と同じになるように調整されます。
- 症例開始時間を調整後電源オン時刻よりも遅い時間に調整することも、除細動器とは関係のない最初のイベント時刻に調整することもできません。

A. 新規の無記入の症例



症例開始時間が現在の時刻と同じものとして作成されます。最初は、除細動器データも時刻もありません。

B. 赤外線、シリアル、Bluetooth から症例をアップロードする、あるいは ZOLL Data Retriever 経由でダウンロードする



RescueNet Code Review で除細動器の電源オン時刻を決定することができる場合

- RescueNet Code Review ワークステーションの時計に除細動器の電源オン時刻が同期されます。
- 調整後電源オン時刻は、除細動器の電源オン時刻と同じとみなされます。
- この他の症例開始時間はすべて、調整後電源オン時刻(除細動器の電源オン時刻)とみなされます。

RescueNet Code Review で除細動器の電源オン時刻を決定できない場合

- 除細動器の電源オン時刻は、「決定できません」となります。
- 調整後電源オン時刻は、現在の時刻と同じとみなされます。
- 症例開始時間は、調整後電源オン時刻(現在の時刻)と同じとみなされます。

注: ZOLL Data Retriever 経由でダウンロードした症例については、携帯端末の時刻が RescueNet Code Review ワークステーションと同期しているとみなされます。Data Retriever を使用する前に、携帯

端末を RescueNet Code Review ワークステーションに接続して、その症例が当てはまることを確認してください。こうすることで、携帯端末の時計をワークステーション時計に自動同期させることができます。

C. カードリーダー、USB ドライブ、又はコンパクトフラッシュから症例をアップロードする



カードが除細動器から外れていたり、除細動器から RescueNet Code Review に直接データが転送されていない場合は、時間の連続性が失われているため、時刻の同期を実行できません。

- 除細動器の電源オン時刻は、カードに記録されたとおりに表示されます。
- 調整後電源オン時刻は、除細動器の電源オン時刻と同じとみなされます。
- 症例開始時間は、調整後電源オン時刻(除細動器の電源オン時刻)と同じとみなされます。

D. 除細動器記録を既存の症例に挿入する

同じソースから新規症例を作成する場合と同じルールに従います。ただし、新規症例の開始時間は、調整後電源オン時刻よりも早い時間又は既存の症例開始時間とみなされます。

注: カードファイルから除細動器記録を挿入する場合は、カードリーダーから除細動器記録を挿入する場合と同じルールに従います。

7章 管理

アクセスの管理/ネットワーク化された環境での使用

グループを使用して、RescueNet Code Review へのアクセスを管理し、機能を選択します

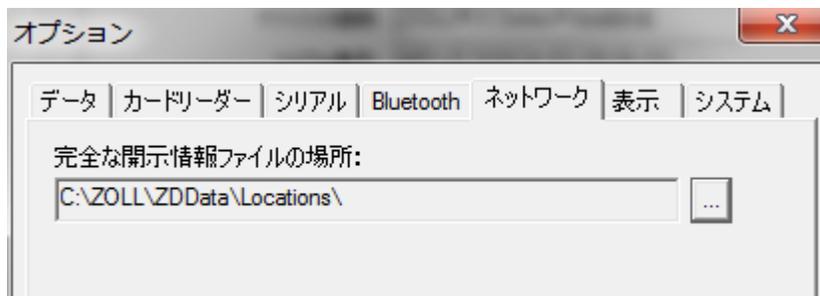
単独でインストールする場合は、ワークステーションでこのグループを設定します。ネットワーク上で複数のユーザーが症例ファイルを共有する環境では、ウィンドウズドメイン又は Active Directory にこのグループを設定します。このグループが既に存在する場合は、ウィンドウズにログインするユーザーは、関連項目にアクセスするグループのメンバーでなければなりません。

- **ZD ユーザー**。このグループのメンバーだけが RescueNet Code Review を起動することができます。
- **ZD 管理者**。このグループのメンバーだけが、ツール>オプションにアクセスすることができます。

注: グループ名は固有のものとなりますので、変更することができません。グローバルセキュリティグループとして追加する必要があります。Novell ネットワークはサポート対象外です。

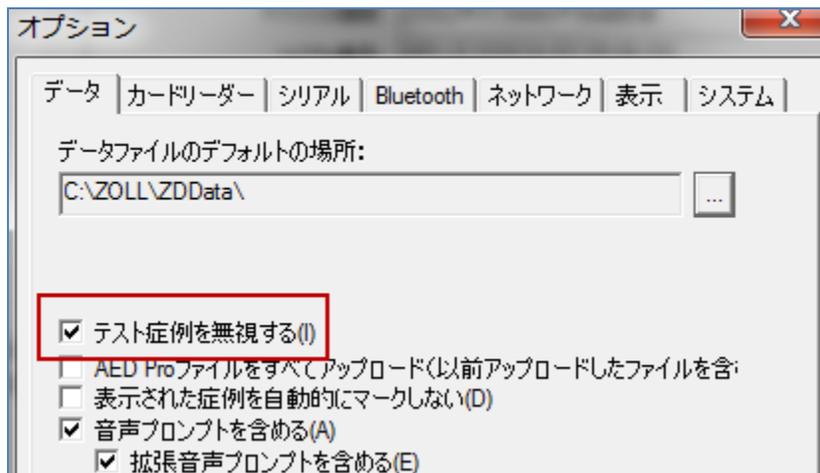
ネットワーク化された環境で RescueNet Code Review を使用する

すべてのユーザーがアクセス、共有、読取り、書込みすることができる 1 つの既定データファイル場所にプログラムのすべての事例を移動するようにしてください。



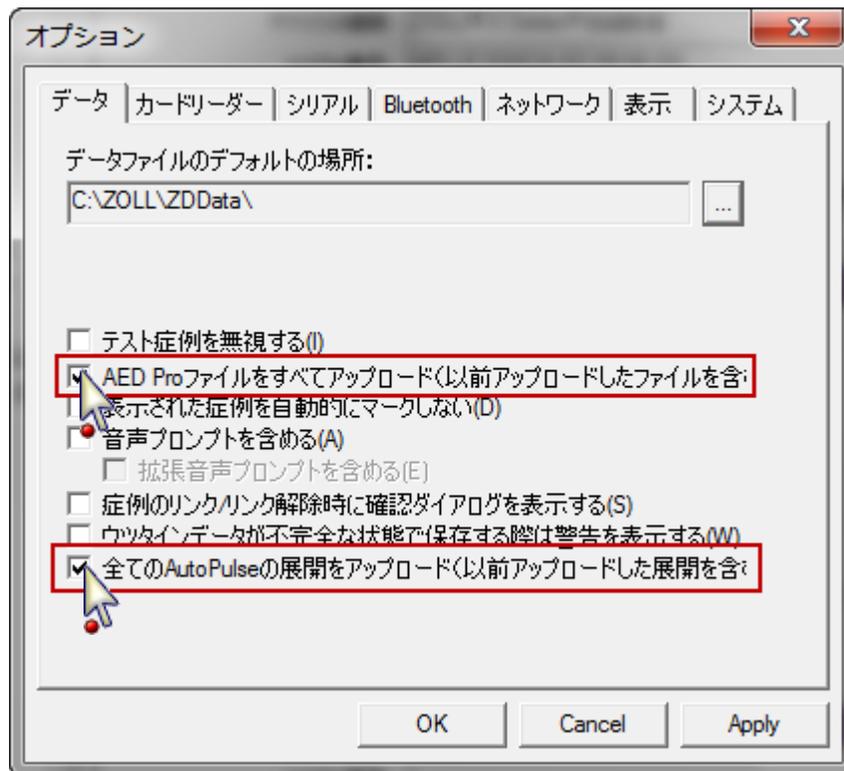
テスト症例を無視する

赤外線、カードリーダー、シリアル接続、又は Bluetooth から新規症例を開いたり、症例を添付しようとするときに、テスト症例を無視するかしないか設定することができます。テスト症例は、30 ジュールの電気ショックが与えられ、患者インピーダンスが 15 オーム未満で、体内パドルが使用されていない症例です。



AED Pro 及び AutoPulse にアップロード済みの症例を無視する

AED Pro 及び AutoPulse から新規症例のみを、あるいはアップロード済みの症例を含め記録したすべての症例をアップロードするかしないか設定することができます。



症例の転送設定の構成

赤外線、カードリーダー、シリアル接続、Bluetooth から症例をアップロードする際の転送は、関連オプションタブの設定により管理されます。

カードリーダー

内部オプションは、ノートパソコンの内部カードリーダーのほとんどに有効です。既定のメモリウィンドウが機能しない場合は、「検出」をクリックすれば、最初に空いているメモリウィンドウを見つけることができます。また、メモリウィンドウを手動で選択して、有効なものを見つけることもできます。「テスト」をクリックして、選択したメモリウィンドウをカードリーダーと使用できるかどうか決定します。

正常に読み込んだ後にカードを自動的に消去するように状況に応じて選択することができます。こうすることで、M Series/E Series 又は 1600/1700 除細動器のどちらにもカードを使用できるようになります。

シリアル及び Bluetooth

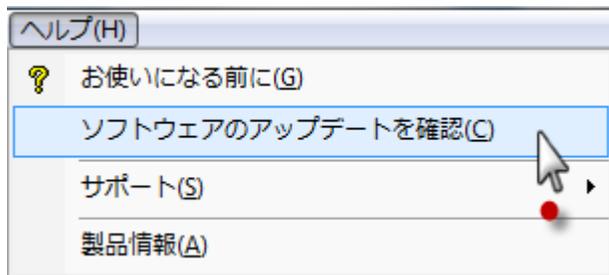
COM ポートは、シリアル又は Bluetooth デバイスが PC で使用する COM ポートと一致しなければなりません。CodeNet Central の除細動器の通信設定は、除細動器で設定した通信設定と一致しなければなりません(詳細は、除細動器の手引きをご覧ください)。

- M Series/E Series の初期設定は 115200 です。
- 1600/1700 の初期設定は 57600 です。

シリアル転送の技術メモ

- **M Series/E Series**。弊社の RS-232 Data Transfer Cable (データ転送ケーブル) (弊社部品番号: 8000-0605-01) を必ず使用してください。このケーブルの終点は、DB9 メスコネクタです。
- **1600/1700**。弊社 1600 Serial Link Cable and Connector (シリアルリンクケーブル及びコネクタ) (弊社部品番号 8000-1614) を必ず使用してください。

ソフトウェアの更新状況を確認する



「ソフトウェアの更新状況を確認」オプションを有効又は無効にするには、ツール>オプション>ソフトウェアの更新を有効にします。このオプションを有効にすると、メニュー項目が「ヘルプ」の下に表示されます。

アップグレード

RescueNet Code Review Standard を Enterprise Edition にアップグレードすることができます。

アップグレードライセンスを購入する場合は、弊社までご連絡ください。

8章 サポート

技術／販売サポート

ソフトウェアの販売、アップグレードに関してご質問がある場合、サポートに関してわからないことがある米国内のお客様は、以下の連絡先情報にご連絡ください。

旭化成ゾールメディカル株式会社

〒105-0003

東京都港区西新橋2-1-1 興和西新橋ビル13階

Tel. 03-6205-4920

Fax. 03-6205-4923

URL: <http://www.ak-zoll.com/>